

第七十六回帝國議會衆議院

蠶絲業統制法案委員會議錄(速記)第一回

付託議案
三號) 蠶絲業統制法案(政府提出)(第六)

昭和十六年二月十二日(水曜日)午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋熊次郎君

理事小山邦太郎君

理事高橋圓三郎君

理事森幸太郎君

理事最上政三君

飯田助夫君

小野寅吉君

加藤知正君

佐藤洋之助君

助川啓四郎君

野溝勝君

松岡俊三君

三善信房君

山田六郎君

吉田賢一君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣

石黒忠篤君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官

農林省蠶絲局長

商工省監理局長

長谷川公一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、農林當局ノ御説明ヲ求メマス——石黒農林大臣理由ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシテ大體ノ趣旨ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、茲

○石黒國務大臣 蠶絲業統制法案ノ提案ノ理由ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシテ大

體ノ趣旨ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、茲

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、農林當局ノ御説明ヲ求メマス——石黒農林大臣理由ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシテ大

體ノ趣旨ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、茲

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、農林當局ノ御説明ヲ求メマス——石黒農林大臣理由ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシテ大

體ノ趣旨ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、茲

ニハ本案ノ主タル内容ノ説明ヲ申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス

本法案ノ内容ノ中デ主ナルモノノ第一

ハ、蠶絲類生産計畫ノ設定ト云フコトデゴザイマス、從來蠶絲業ハ御承知ノ通リニ輸出向生絲ノ生産ヲ目標ト致シマシテ、之ニ偏シテ居ツタノデゴザイマスガ、今後ノ輸出向生絲ハ、實際輸出ニ必要ト認メマス一定量ヲ目標ト致シマスト共ニ、國內生絲

ハ實用織製品ノ方面ニ用途ヲ擴大致シマシテ、又織ノ相當數量ヲ短纖維ト致シテ處理致シマシテ、羊毛、綿等ト共ニ使用セシメタイト考ヘテ居ル次第ゴザイマス、斯クノ如ク國內消費ノ充實ニ重點ヲ置キマシテ、政府ニ於キマシテハ今後内外ノ情勢ノ變化ニ對應シテ事態ニ即シマスル蠶絲類ノ用途別、生産計畫ヲ立テ參リタイト考ヘテ居リマス、之ニ基キマシテ生産ノ割當制

ノ如ク國內消費ノ充實ニ重點ヲ置キマシテ、政府ニ於キマシテハ今後内外ノ情勢ノ變化ニ對應シテ事態ニ即シマスル蠶絲類ノ用途別、生産計畫ヲ立テ參リタイト考ヘテ居リマスル關係上、相場ノ變動常ナキ狀態

トシテ蠶種、繭及ビ生絲ノ一手買入及ビ賣渡ヲ行ハシメントスルモノデゴザイマス、

付キマシテ許可制度ヲ設ケタイト存ジテ居

リマスル次第アリマス

者ニ對シマシテハ、中庸生產費ヲ基礎ト致シマスル價額ヲ安定セシメマスルト共ニ、

其ノ配給ニ當リマシテハ業者ノ間ニ公平ヲ期シマシテ、又消費計畫ニ即シテ必要ナル方面ニ對スル供給ヲ確保致シタイト考ヘテ居ル次第アリマス

第三ハ蠶絲類ノ價格ニ付テデゴザイマス、從來ハ專ラ輸出生絲ノ絲價ガ基準トナツテ居リマスル關係上、相場ノ變動常ナキ狀態デゴザイマシタガ、今後ハ日本蠶絲統制株式會社ガ其ノ配給ヲ管理致スニ當リマシテ、

其ノ買取價格ハ主トシテ生産費ヲ基準ト致シマシテ、品位ニ依ツテ之ヲ定ムルコトト致シ、賣渡價格ハ品位又ハ用途ニ應ジマシテ之ヲ定メマスルト共ニ、中間取扱業者ノ賣買モ概ね一定ノ手數料主義ニ依ラシムルコトト致シタイト考ヘテ居ル次第アリマス

第七ハ特別會計法ノ資金ヲ擴充デゴザイマス、政府ハ絲價安定措置ノ萬全ヲ期スル爲ス、政府ハ絲價安定措置ノ萬全ヲ期スル爲ス、政府ハ絲價安定施設特別會計法ノ資金七千万圓ヲ存ジマスルノデ、左様致シタイト所存デゴザイマス

絲價安定施設特別會計法ノ資金七千万圓ヲ存ジマスルノデ、左様致シタイト所存デゴザイマス

二億五千万圓ニ増額スルコトト致シタノデゴザイマス

以上申述ベマシタ所ノ機構ヲ整備致シマシテ、從來屢々激變ヲ繰返シテ參リマシタ我ガ國蠶絲業ノ再編成ヲ致シマシテ、安定シタル價格ト適切ナル計畫ノ下ニ蠶絲業ノ生産者ヲシテ安ンジテ其ノ業ニ就カシムルヤウ努メルト共ニ、新タニ相當數量ノ繭ヲ短纖維ト致シマシテ、利用スル方途ヲ確立致シマシテ、國民生活ニ必要ナル實用的纖維園ニ付キマシテハ養蠶經營ノ基礎デアリマスノミナラズ、農業生産ノ全體ノ見地カラ致シマシテモ、桑園面積及ビ其ノ配置ノ適固ナル基礎ノ上ニ立タシメタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、大體以上ガ本法案ノ骨

子ト致シマスル所デゴザイマス、何卒十分ニ御審議ノ上ニ御可決アランコトヲ御願ヒヲ致シマス

○高橋委員長 是ヨリ質疑ニ入リマス——
最上政三君

○最上委員 私ハ先般本案ガ衆議院ノ本會議ニ上提サレタ際質問ヲ致サウト考ヘタノデアリマスガ、機會ナク質問ガ出來マセヌデシタ、隨テ本委員會ニ於テハ特ニ大體論ニ付テ農林當局ニ御聽キシタイト思フノデアリマスガ、唯其ノ結果或ハ委員諸君ノ中ニ於テ既ニ御承知ノコトモアラレルト思ヒ

イノデアリマス
第一ハ二重價格制、所謂輸出生絲ノ自由販賣問題デアリマス、本業實施ノ結果トシテ統制會社ガ設立サレタ場合國用生絲ハ、一定ノ公價ヲ以テ會社ガ買上げルノデアリマスガ、輸出生絲ハ絲價安定施設法ニ基キ、制高制低ハ認メルガ、原則トシテ從來ノ輸出業者ニ自由、販賣ヲ許スト云カ其ノ他ノ方面ニ於テハ、盛シニ此ノ案ニ對シテ反對的態度ヲ執ラルルヤウナ傾キガアリマス、其ノ理由ハ色々申シテ居リマスガ、要スルニ輸出生絲モ此ノ際統制シ一元化シテ、所謂會社ニ依ツテ買上ゲルコトガ製絲政策上ニ於テ最モ適當ナリト云フヤウナ意味デアリマス、私ハ本案審議ニ對シ政府當局ガ自由販賣制ヲ認ムタ根本理由、又一部全國製絲聯合會等ニ於テ反對シテ居ル理由等ニ付テ、農林當局カラ明確ナ理由ヲ

御説明願ヒタイト思フノデアリマス

○石黒國務大臣 只今最上サンノ御尋ネノ點ハ、ドウ云フ理由デ製絲聯合會等ガ其ノ點ニ關シマスル主張ヲ致シテ居ルカト云フヤウナコトハ、私直接ニ聽イテ居リマセヌノ

デ局長ヲシテ申上ガタイト存ジマス、當案ニ關シマシテハ、只今農林當局ノ案トシテハ、輸出生絲ニ付キマシテハ自由販賣ニ委スルヤウナ趣旨デアルヤウニ聞イテ居ルガト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ大體其ノマスガ、本案審議ノ爲メ必要事項トシテ聽クノデアリマスカラ、暫ク御容赦ヲ願ヒタ

リデアリマス、而シテ輸出方面ニ關シマステモ、ソレ等ノ國內ニ於ケル生産ニ付テノ必要ハ認メラレシテ居ルノデアリマスルガ、輸出方面ニ關シマシテノ意見ハ必ズシモ一
致ラシテ居ラヌト云フヤウナ事情デアリマス、是等ノ現狀ヲ考ヘマシテ、又只今統制法實施シテ行クト云フコトノ緊急事情カラ

ヤウナ除外ノ方針ヲ以テ行クノガ適當デアラウ、斯ウ考ヘテ案ヲ立テ居リマス次第デアリマス、詳細ノコトハ尙ホ局長カラ申蘭、生絲ト云フモノノ販賣ヲヤル、サウシテ會社デ定メタ値デ賣ルト云フコトニナレバ、極メテ徹底シタル價格ニ安定ヲ得ルコトガ出來ルノデアルカラ、輸出生絲ニ付テダケノ一手買取、一手販賣ヲヤラナиде、謂ハベ現

在ノ形ノヤウナ恰好デ賣ラレルト云フヤウニシテ置イテ、甚ダ其ノ點缺ケル所ガアルノ

ノデハナイカ、寧ロ會社デ一手買取、一手販

賣ト云フコトニシタナラバ、會社ノ決メタ

スル部分ハ御保留ヲ願ヒマス

○吉田政府委員 只今最上サンカラ政府ノ原案ハ、輸出ノ生絲ノ販賣ヲ自由ニスルト考ヘテ居リマス、之ニ對シテ製絲ノ方面カラ、色々反対ノ意見モ出

テ居ル、ソコデドウ云フ理由デ製絲業者ノ方ガ反対シテ居ルカ、且又政府ノ方デ自由ニシヨウト云フ理由ハ如何ナルモノデアルカ、斯ウ云フ點ニ付テ御質問ガアツタノデアリマス、概略其ノ間ノ事情ト申シマスルカ、考ヘ方ヲ御説明致シタイト思フノデアリマス、製絲業者ト申シマスルカ、製絲業組合聯合會デ色々論議サレマシタ結果、意見ノ一致致シマシタ理由ハ生絲ノ値段ノ不安定ト云フコトガ、蠶絲業ノ根本的ノ缺陷デアル、之ヲ安定サセヨウト云フコトガ長年ノ懸案デアルノデアリマス、政府モ今度ノ此ノ統制法案ニ於テ其ノ點ノ改善ト云フコトヲ極メテ重要視シテヤツテ居ルノデアリマス、ソコデ政府ハ會社ヲ作ツテ蠶種、蘭、生絲ト云フモノノ販賣ヲヤル、サウシテ會社デ定メタ値デ賣ルト云フコトニナレバ、極メテ徹底シタル價格ニ安定ヲ得ルコトガ出來ルノデアルカラ、輸出生絲ニ付テダケ致シマスルト、逆結果ト申シマスカ、サウシテ見マスト、色々現在ノ周圍ノ事情ヲヤツテ、其ノ儘ニシテ置イテ今直チニ左様ナコトヲ致シマスルト、逆結果ト申シマスカ、サウシテ云ツタヤウナコトガ起ツテ來ヤシナイカト云フヤウナ非常ニ懸念ガアル譯デアリマス、其ノ懸念ガアル、斯ウ云フ點ナノデアリマス、徹底的ニサウ云コトヲスルノハ理想ノ上カラ申シマシテモ何モ考ヘハ違ツテ居ルノデハナインデアリマスガ、サウ云フ風ニヤツテ、其ノ儘ニシテ置イテ今直チニ左様ナコトヲ致シマスルト、逆結果ト申シマスカ、サウシテ云ツタヤウナコトガ起ツテ來ヤシナイカト云フヤウナ非常ニ懸念ガアル譯デアリマス、其ノ懸念ノ第一點ト申シマスルノハ、會社ガ内地絲ヲ全部買ヒ輸出絲モ一手デ買フ、要スルニ日本デ生産サレル生絲ヲ全部一手デ買取ツテ、サウシテ一手ニ販賣スルト云フコトニナリマスルト、今日生絲ハ動トモ致シマスト、供給量ハドチラカト申シマス

此ノ點カラ見テ適當デアルカラ、一步ヲ進メテ其處マデ伸バスコトガ宜カラウ、斯ウ云フ意味デノ反対ト申シマスカ意見ナノデアリマス、吾々ト致シマシテモ決シテ此ノ考ヘ方ニハ根本的ニ反対ト申シマスルカ、違ツテ居ル譯デハナイノデ、全ク是ハ氣持ハ同ジデアリマス、價格ノ安定ト云フコトハ極メテ同感デアルノミナラズ、サウシナカレバナラスコトニ付テ全ク意見ハ同ジナノデアリマス、ソコデ私共ト申シマスルカ、農林當局ニ於キマシテ生絲ヲ自由ニ致シタ方ガ宜シイ、斯ウ申シマスルノハ根本的ノ理念ト申シマスルカ、根本的ノ理念ト云フコトヨリモサウ云フ風ニヤツタ場合ニ、唯ケレバナラスコトニ付テ御質問ガアツタノデアリマス、概略其ノ間ノ事情ト申シマスルカ、考ヘ方ヲ御説明致シタイト思フノデアリマス、製絲業者ト申シマスルカ、製絲業組合聯合會デ色々論議サレマシタ結果、意見ノ一致致シマシタ理由ハ生絲ノ値段ノ不安定ト云フコトガ、蠶絲業ノ根本的ノ缺陷デアル、之ヲ安定サセヨウト云フコトガ長年ノ懸案デアルノデアリマス、政府モ今度ノ此ノ統制法案ニ於テ其ノ點ノ改善ト云フコトヲ極メテ重要視シテヤツテ居ルノデアリマス、ソコデ政府ハ會社ヲ作ツテ蠶種、蘭、生絲ト云フモノノ販賣ヲヤル、サウシテ會社デ定メタ値デ賣ルト云フコトニナレバ、極メテ徹底シタル價格ニ安定ヲ得ルコトガ出來ルノデアルカラ、輸出生絲ニ付テダケ致シマスルト、逆結果ト申シマスカ、サウシテ云ツタヤウナコトガ起ツテ來ヤシナイカト云フヤウナ非常ニ懸念ガアル譯デアリマス、其ノ懸念ノ第一點ト申シマスルノハ、會社ガ内地絲ヲ全部買ヒ輸出絲モ一手デ買フ、要スルニ日本デ生産サレル生絲ヲ全部一手デ買取ツテ、サウシテ一手ニ販賣スルト云フコトニナリマスルト、今日生絲ハ動トモ致シマスト、供給量ハドチラカト申シマス

ト潤澤デアルト申サナケレバナラヌ、此ノ

點ハ國內ノ他ノ物資トハ事情ヲ異ニシテ居

ルト考ヘテ居ルノデアリマス、兎角手持品

ガ多クナル、要スルニ潤澤ナ品物ヲ抱ヘ込

ンデ置イテ値段ヲ決メルト云フコトニナル

ト、果シテ供給者側ノ考ヘ通リデ値段ガ維

○高橋委員長 一寸最上君ニ申上ゲマス、臣ニ一言……

○最上委員 第三點デアリマスガ、私ハ大

大臣ハ豫算總會ノ方デ追加豫算ニ付テ質問

ガアルノデ非常ニ御急ギノ御様子デスカラ、

其ノ點ニ付テ、一手買取、一手販賣ト云フ

コトニシナインハ、如何ニモ佛作ツテ魂ヲ

入レナイト云フコトニナル、是ハ是非トモ

ト、果シテ供給者側ノ考ヘ通リデ値段ガ維

會社ニ於テ一手買取、一手販賣ニスル方ガ、

理由等ニ付テ、農林當局カラ明確ナ理由ヲ

持出來ルカラドウカ、ト申シマスノハ需要者側ノ方カラ値ヲ押サレテ來ルヤウナ恰好ニナリハシナイカト云フ點ヲ惧レテ居ルノデアリマス、非常ニ少イ品物ヲ持ツテ居ツテ賣出ス場合ニハ、賣人側ノ一存デ決メタ值段ヲ突張ルコトガ出來ルト考ヘラレルノデアリマスガ、生絲ノ如キドチラカト申スト供給ガ動モスルト多クナルヤウナ恰好ノ品物ヲ全部抱ヘ込ンデ、サウシテ之ヲ販賣致シマス場合ニ、供給者、賣人側デ一存デ決メタ値段デ飽クマデ突張ルト申スカ、押シテ行ケルカドウカ、鬼角斯ウ云フヤウナ場合ニハ、買人側ノ方カラ押サレタ場合ニ之ニ讓ラザルヲ得ナイヤウナ形ニナリハシナイカ、斯ウ云フ點ノ懸念ヲ第一ニ持ツテ居ルノデアリマス、サウ致シマスト、之ヲ一應外貨獲得ノ見地カラ相當高ク賣リタイト云フ考ヘデ決メマシテモ、買人側カラ色々ナ形デ押サレテ來ルト、自然之ヲ或ル程度低下スルト云フコトニナル、ソレヲ一度ヤリマスト、低下々々ト云フヤウナコトニナリマシテ、結局外貨獲得ノ上カラ申シマシテ十分デナイヤウナ結果ニナリハシナイカ、且又値段ヲ低下々々ト云フヤウナ形デ動カシタノデハ、ソレハ所謂價格安定デハナクナツテシマフ、サウ云フヤウナ動カシ方ガ行ハレルコトニデモノ懸念デアリマシテ、見方ニ依ツテハサウナリマスト、自然ノ動キノ場合ヨリモ更ニ悪性ノ動キ方ニナリハシナイカ、是ガ一ツデアリマス、隨テ此ノ點ハ單ナル吾々ノ懸念ニ過ギナインデアリマスガ、サウ云フ懸念ガ一ツアル、ダカラ其ノ點ハ餘程考慮ヲ張レバ宜イ、斯ウ云フヤウナ見方モアルノシテ見ル必要ガアル、今直チニ斯様ナコト

ヲヤルト云フコトハ其ノ點デ少シ躊躇セザ
ルヲ得ナイノデハナイカ、斯ウ云フノガ一
點デアリマス

ソレカラ品質ハ非常ニ種々雜多デゴザイマス、
ソレカラ品質ハ非常ニ種々雜多デゴザイマス、
ス、今日検査ヲシテ品質ニ等級ヲ付ケテ十
階段バカリニ段階ヲ付ケテ値段ガ定マツテ
居ル譯デアリマスガ、之ヲ政府ガ一手デ買
フコトニ致シマスト、先程ハ此ノ會社ガ賣
ル場合ノ點ニ付テノ懸念ヲ申シタノデアリマ
スガ、今度ハ製絲家カラ買フ場合ニドウ
云フヤウナコトニナルダラウカ、斯ウ云フ
コトヲ茲ニ豫想シテ見テ居ルノデアリマス
ガ、細イ物ノ値段ノ決メ方ガ製造家ニ比較
的有利デアルコトニナリマスト、兎角製造
家ノ方ハ有利ナ方ノ品物ヲ先づ造ツテ會社
ニ賣込ンデ來ル、此ノ會社ハ品物ガ澤山アリ
ル時ニ於テモ買フコトヲ止メルコトノ出來
ナイ會社デアルコトハ御承知ノ通リデアリ
マス、持ツテ來タモノハ必ズ買フニ決マツ
テ居ル、而モ検査ノ結果格ガ定マリマスレ
バ、豫メ決マツタ値段デ必ズ買フコトニ決
マツテ居ル會社ニナル譯デアリマスカラ、
隨ヒマシテ製絲家ノ方カラノ賣込ハ、製造
家ノ側ト致シマシテ最モ有利ナ方ノ種類ノ
絲、或ハ絲格ノ絲ヲ造ツテ持ツテ來ル、其ノ
結果買込ンダ絲ハ其ノ種類及ビ絲格ニ於テ
變動スルヤウナ恰好ニナリハシナイグラウ
ル虞ハナイカ、斯ウ云フヤウナ懸念ガアル
ノデアリマシテ、私共ガ直チニ輸出絲マデ
テハ之ヲ安ク賣ラナケレバナラヌコトニナ
リ、若シモサウナルト之ヲ賣捌クニ非常ナ
困難ヲ感ゼザルヲ得ナイヤウニナリ、延イ
テハ之ヲ安ク賣ラナケレバナラヌコトニナ
リ、若シモサウナルト之ヲ賣捌クニ非常ナ

躊躇致シテ居ル一ツノ懸念デアルノデアリマス、ソレカラ少シ細カイコトニナリマシテ恐縮デゴザイマスガ、品質ノ低下ト云フコトヲ言フノデアリマスガ、今日先程申シマシタヤウナ絲格ト云フヤウナコトデ検査ヲ致シテ居リマスガ、同ジ格ニ屬シマスモノモ相當幅ガアリマス、十階段ニ分ケテ居リマスガ、同ジ格ノ中デモ、點數デ申セバ何點以上何點以下ノモノヲ何格ニスルト云フヤウナ形ニナツテ居ル、ソコデ其ノ格ノ範圍ニ入ルモノナラバ値段ハ同ジデアル「エー」格ハ幾ラト云フコトデ、ドウシテモ豫メ値段ヲ決メテ置イテ買ハザルヲ得ナイコトガ想像サレル、サウスルト、同ジ格ニサヘ入レバ總テ値段ガ同ジダト云フコトニナルト、其ノ格ノ中デモ、上ノ格ニ近イヤウナモノヲ造ル努力ガ鈍ツテ、下ノ格ニ近イモノ、要スルニ一等品ニ近イヤウナ二等品ヨリモ、三等品ニ近イヤウナ二等品ヲ造レバ、ソレデ値段ハ同ジダト云フヤウナコトニ落チテ來ハシナイカ、サウ云フコトニナルト、今日非常ニ優良ナ絲ノ造ラウト努力シテ居ルト、絲質ノ向上下ト云フコトニ付テノ努力モ鈍ルコトニナリハシナイカ、此ノ懸念ガ一點デアリマス、

點モ懸念サレルノデアリマス、現状ノ儘デ
買取、販賣ト云フコトヲ一手ニ致シマスト、
斯ウ云ツタヤウナ逆結果ヲ來シハシナイカ
ト云フ懸念ガアリマスノデ、是等ノ點ニ付
テノ對策ト云フカ、サウ云フコトヲ今後十
分研究シ、之ニ對スル對策ガ確立シテ、
ヤツテ差支ヘナイト云フ確信ヲ得マシ
テカラ一手買取、一手販賣ヲヤルノモ
遅クハナイ、ソコデ政府ト致シマシテ
ハ、今度ノ會社デ蠶種モ一手ニ買ハナ
ケレバナラヌ、繭モ全部一手買ト云フヤ
ウニ大キナ仕事モシナケレバナラヌ、生絲ニ
付キマシテモ、國用ノ複雜ナ生絲ヲ一手デ
買ツテ賣ルト云フ大キナ仕事フンナケレバ
ナラヌト云フ時代ニ、此ノ輸出生絲ノ非常
ニ手ノ廣イヤウナ仕事ヲ一擧ニ抱へ込ムコ
トハ實際問題トシテ非常ニ困難ガ重ナリハ
シナイカ、斯ウ云フ實行ニ對スル色々ナ心
配モアリマスノデ、此ノ複雜ナ輸出絲一手
買取、一手販賣ト云フコトベ、モウ少シ先
ニ行ツテヤル必要ガアレバヤツテモ遅クナ
イ、要スルニ總テノ準備ガ整ツテ確信ノ得
ラレル方策ヲ立テカラ實行スルモ遅クナ
カラウ、斯ウ云フ漸進主義的ナ考ヘ方デ、
此ノ際ハ除外スル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
ルノデアリマス、製絲業者ノ團體ノ申シマ
スノモ、根本的ニハ何モ反對ダト云フノデ
ハナイノデアリマシテ、寧ロ私共ノ考ヘト
シテハ、政府ヲ鞭撻シテ居ル意見デアル、
少シ躊躇シ過ギテ居ルデハナイカ、モウ少
シ早ク思切ツテヤツタラ宜イデハナイカ、
アリマス、要スルニ今申上ゲタヤウナ懸念
スウ云フコトデ鞭撻ヲシテ居ル意味ナノデ

○吉田政府委員 蘭ノ生産額ノ問題デアリ
ノ位ノ豫想ヲセラレテ居ルト云フ、ソレヲ
一ツ伺ヒタイ
マスガ、是ハ農作物デアツテ、天候其ノ他、
作柄等モ非常ニ違ヒマスノデ、計畫ハ致シ
マシテモ計畫通り出來ルト決ツタコトモナ
ケレバ、ソレ以上出來ルト云フコトモアル、
要スルニ是ハ見込ヲドウ立テルカノ問題デ
アルト思フノデアリマス、食糧ノ増產計畫
デ明年度ハ約六万六千町歩バカリノモノヲ
轉作サセルト云フコトニナリマスト、現在
面積ハ五十三万町歩バカリアリマスノデ、
一割二分バカリ減少スルコトニナルノデア
リマス、隨テ其ノ爾餘ノ面積ニ依リマシテ、
極力養蠶ト致シマシテハ面積ガ減ツテモ蘭
ヲ減ラサイデ同様ニ作ルコトニ努力スルヤ
ウニ、其ノ指導ニ力ヲ致シタイト思フノデ
アリマスガ、何サマ急ニ面積ガ減ツタ以上
ハ其ノ影響ハ免レナイモノト思フノデアリ
マス、ソコデ昨年ハ割合ニ成績ガ良ク行ツ
テ、八千六百万貫程出來タカト思ツテ居リ
マス、一昨年ハ更ニ成績ガ良クテ九千三百
万貫ト云フコトニナツテ居リマス、斯様ニ
同ジ面積デアリマシテモ年ニ依ツテ非常ニ
違フノデアリマスカラ、ピツタリ當ルコト
ハ中々困難デアリマス、ソコデ來年ハ一割
餘リノ面積ガ減ルコトデアリマスカラ、其
ノ爾餘ノ面積デ大イニ力ヲ入レテヤツタト
計畫シタカラ其ノ通り出來ルト云フ譯ノモ
ノデモナイノデ、要スルニサウ云フヤウニ
ト雖モ遠カラザル生産見込數量デハナカラ
ウカト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ數字ヲ
計畫シタカラ其ノ通り出來ルト云フ譯ノモ
ノ考ヘテ居リマス、ソレヲ如何ナル計畫ニ

依ツテ幾ラヲ絲ニシ、幾ラヲ繭ニスルカト云フコトハ此ノ制度ガ出来マシテ、蠶絲委員會等ニ諸ツテ決メルベキ問題デアリ、且又今後ノ情勢ヲ見マシテ、成ベク近イ所ニ參リマシテ、内地絲ノ消費狀況、海外ヘノ賣行狀況等ヲ見マシテ、其ノ期限ニ最モ近幾ラ、輸出絲幾ラ繭幾ラト云フ見込ハ私共ハ立テ居ラナイノデアリマシテ、此ノ會社ヲ作りマシテ十六年度ノ處理ノ仕方ニ付キマシテ、如何ナル計畫デヤツテ行クカト云フコトハ、此ノ委員會ニ依ツテ御決定ヲ願ヒマスノデ、其ノ時期ノ近クニ行キマシテハツキリシタ案ヲ立テタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデ、左様御諒承願ヒタイト思ヒマスノ

ソレハ少シモ所謂正式ニ役所トシテ決メ
居ル計畫デナイコトヲ御諒承願ヒタイト
ヒマス
蠶種ノ問題デアリマスガ、此ノ制度ガ出
來マシタナラバ成ベク速カニ繭、生絲、蠶種
ノ一手買取、一手販賣ト云フコトヲヤリタ
イト考へテ居リマス、是ハ出來ルナラバモ
秋蠶カラ其ノ配給フヤツテ行キタイ、斯等
ニ思ツテ居リマス、繭モ春繭カラヤツテ行
キタイ、今年ノ春繭ノ蠶種ハ是ハモウ出來
テ居リマスカラ致シ方アリマセヌガ、出來
ルナラバ夏秋蠶カラ蠶種ノ方ハヤツテ行キ
タイ、斯様ニ考へテ居ルノデアリマス
○最上委員 私ハ第四點トシテ蠶種、繭、
生絲ノ價格問題ニ付テ御聽キシヨウト思フ
ノデアリマス、本案第七條ニ於テ、政府ハ
是等ノ價格ヲ決定スルニハ蠶絲委員會ニ
問シ、會社ノ買入賣渡ノ標準價格ヲ決定ス
ルトノコトデアリマスガ、現在ノ標準價格
以下ニ著シク下落スルト云フヤウナ虞ガニシ
イカドウカ、是等ハ輸出生絲等ニ付テ見足
モ、標準價格千三百五十圓ト云フコトデ價
格ガ維持サレルカドウカ、又國用絲ニシロ
蠶種ニシロ、色々ナ方面カラ見テ、現在ノ
價格ヨリモ著シイ差異ヲ生ズルヤウナ虞ガ
ナイカドウカト云フコトニ付テ御説明ヲギ
リタイノデアリマス
○吉田政府委員 此ノ蠶種ニ付キマシテモ
繭ニ致シマシテモ、生絲ニ致シマシテモ値
段ハ此處ニモ書イテアリマスヤウニ中庸生
産費ヲ「カバー」スルト申シマセウカ、適正
ナル生産費ヲ基準ニシテ之ヲ補償スルト云
フヤウナ形ニナリマセウ、ソレデ必ズ此ノ
會社ガ買フ、隨テ生産者ノ方ハ生産費ヲ
「カバー」サレ、ソレデ生活ガヤツテ行ケルト

ノ會社ニ買ツテ貰ヘルト云フコトニナリマスノデ、如何ナル事情ガ内外ニ起キマシテモ動搖ノ爲ニ値ガ下ガツタリ何カスルヤウナコトハ絶対ニ今後ハアリマセヌ、其ノ意味ニ於テ業界ハ非常ニ安心出來ル、サウシテ品種ノ改良、品質ノ向上ニ付テ今後ハ專念シテ行クコトモ出來ルヤウニシヨウト云フノガ、此ノ目的デアルノデアリマス、唯價格ノ點ハ生產費ヨリ、下ノ方カラ積算致シテ參リマシテ出來タ價格ニナルノデアリマスカラ、現在ノ相場ト云ツタヤウナモノトドノ程度違フコトニナルカソレハ分リマセヌガ、生產費ヨリ下ノ方カラ積上げタ所謂生產費ヲ補償スル、斯ウ云フ考ヘデ居ルノデアリマス

○最上委員 一般養蠶農家ニ於テハ、當局ノ御辯明通りナラバ決シテ心配スルモノデハナイノデアリマスガ、ドウモ此ノ會社ガ出來タ場合ニハ輸出絲が減ル、又國用絲ガ増大サレル場合ニ於テハ、勢ヒ從來ニ比較シテ餘程相場ニ變動ガアリハシナイカト非常ニ危惧シテ居ルノデアリマス、其ノ御辯明ノ通り成ベク變動ノナイヤウニ善處セラレンコトヲ私ヘ希望致シマス
ソレカラ是ハ小サイ事ノヤウデアリマスガ、非常ニ重大ナ問題デアリマスカラ伺ヒタルノ計算デアル、共同計算デアルサウデアリマスガ、共同計算ノ煩瑣ナコトヘ今更言フマデモアリマセヌ、然ラバ用途別ニ計算スルノデアリマセウカ、或ハ全體ヲ引括ニテヤルノデアルカ、又繭ノ品位等ニ於テ價格ヲ別々ニスルノデアルカ、是ヘ一般農家ニ於テ非常ニ聽キタイ所デアル、又支拂等ニ付テモ今日農家ガ困ツテ居ルノハ米トカ麥ノ支拂ガ數箇月遅イ、而モ其ノ支拂代ノ一部デアルガ、利息ヲ拂ツテ自分ノ米代ヤ麥代ノ一部ヲ支拂ツテ貰フト云フヤウナコトデアツテハ非常ニ困ル、若シ本案實施後統制會社ガ出来ルヤウニナツタ場合ニ於テハ利息ヲ取ラナイ、今日特約組合等ニ於テ取引シテ居ルヤウナ方法デ一部分ヲヤリ、後デソレヲ決済スルト云フヤウナ方法ヲ執ルノデアリマステハ是ハ養蠶家カラ一定ノ「レベル」デ買取カ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

ルノデアリマス、尤モ一等繭、二等繭、三等
繭ト云フ品質ノ検定ノ成績ニ依ツテ値段ノ
格差ガ付クコトハ當然デアリマスガ、平均
何十掛ナラ何十掛ト云フコトデ買取ルコト
ス、ソコデ此ノ會社ガ其ノ買取ツタ繭ヲ或ハ
ヤウトモ、養蠶家ニ何等關係ナシニ養蠶家
カラハ決マツタ掛目デ全部買取ルノデアリマ
ス、是ハ如何ナル用途ニ此ノ繭ガ向ケラレ
マシテ、繭ヲ挽ク製絲家ニ廻シ、一部ハ繭ノ儘使
輸出生絲ヲ挽ク製絲家ニ廻シ、一部ハ國用
生絲ヲ挽ク製絲家ニ廻シ、一部ハ繭ノ儘使
用スル業者ニ振向ケル、ソコデ其ノ振向ケ
ル場合ニ用途別ニ、今度ハ會社カラ言フト
賣值デスガ、會社へ入ツテ來ル値段ニ付テ
ハデコボコガ出來ルト考ヘテ居ルノデアリ
マス、或ハ輸出生絲ノ如キ方面ニ賣ルヤウ
ナ場合ニハ、相當高ク賣ツテ然ルベキ場合
ガアルト思フノデアリマスカラ、是ハ勢
ヒ儲ケテ賣ルコトニナリマス、又サウシタ
イト思フノデアリマス、國用絲ノ如キニ付
キマシテモ、相當用途其ノ他ニ付キマシテ
ハ高ク賣ツテ宜シイト思ヒマスガ故ニ、此
ノ方面デモ儲カル、是ハ儲カラヌカモ知レ
マセヌガ、先づ趣意ハサウデアリマス、所
謂羊毛代用等ニ向ケル方面ニ付キマシテ
ハ、養蠶家ノ生產費デ買ツタ繭ヲ其ノ儘デ
賣ルト云フコトハ相當困難デアリマス、斯
様ナ點ニ付キマシテハ會社ハ損ヲシテ配給
スルト云フコトニナルノデアリマス、斯様
ナ損得ヲ全體的ニ會社ノ懷ロデ「プール」シ
ヨウ、斯ウ云フ考ヘラ持ツテ居ルノデアリ
マシテ、繭ハ繭ダケニ付テ良イモノト惡イ
モノトノ間デ「プール」シヨウト云フヤウナ
考ヘデ居ルノデハナイノデアリマス
ソレカラ代金ノ支拂ノ問題デアリマスガ、是
ハ非常ニ大事ナコトドト思フノデアリマス、

ノ一番肝腎ナ問題ハ仕事ヲ始メテ代金ノ支拂
ガゴタノシタリスルコトハ最モ此ノ制度
ノ信用ヲ傷ケルモノト思ヒマスノデ、出来
得ル限り敏速ニ繩ノ代金ノ殆ド全額ヲ拂ヒ
バナラヌ、此ノ點ガ極メテ此ノ制度ヲ運用
致シテ參リマス上ニ於テ大事ナ問題ダト思
ヒマス、無論全額ト申シマシテモ、或ハ實
際今日特約組合アタリデ八掛程度ヲ渡シテ
二掛程度ハ多少遅レルト云ツタヤウナコト
モアルヤウデゴザイマスカラ、今日行ハレ
テ居ル程度ノコトハアルカモ知レマセヌ
ガ、何レニ致シマシテモ、此ノ制度ニナリ
マシタガ故ニ繩代金ノ支拂ガ停滯スルト云
ツタヤウナ所カラ不信ヲ買フコトノナイヤ
ウニ極力注意シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ
居ルノデアリマス

○吉田政府委員 此ノ會社ハ御承知ノ通り
資本金ハ八千万圓デ、半額ノ四千万圓ノ拂込
ニナツテ居リマスカラ、四千万圓程度ノ手
持金ガアリマスノデ、繩ヲ貰ヒマスト、ソ
レヲ頭金ニシテ擔保デ以テ銀行カラ金ヲ借
リテソレヲ廻シテ行カウト云フ考ヘデアリ
マス、隨ヒマシテ大體賣ツテカラ——買人
カラ金ヲ取ツテカラデナケレバ養蠶家ヘヤ
レナイト云フ風デハナクテ、擔保デ此ノ會
社ガ銀行カラ金ヲ借りマシテ、ソレカラ直
グ拂ツテ行カウト云フノデアリマスカラ、
隨テ代金ノ一部ヲ検定ノ成績ヲ見テカラ清
算ヲスルト云フコトニナリマシテモ、大體
値段ハ決マツテ居ルノデアリマスカラ、大
多數ノ部分ハ前ニ拂フコトガ出來ルト考ヘ
テ居リマス、隨テ代金ノコトデアリマスカ
ラ、利子ヲ取ルト云フ考ヘハ持ツテ居ラナ
イノデアリマス

○最上委員 私ハ第五點トシテ桑園整理ト
補助金ノ問題ニ付テ聽キタイト思フノデゴ
ザイマス、政府ガ今日企圖スル桑園ノ整理
ハ、全國桑園五十三万四千町歩ノ内、其ノ
一割二分九厘ニ當ル五万六千町歩ト唱ヘラ
レテ居リマス、其ノ一割二分九厘ト云フ數
字ハ何處ヲ根據トシテ出シタノデアルカ、
又桑園ノ整理ハ全國一律的ニ之ヲ按分シテ
行クノデアルカ、或ハ適地主義ニ依ツテ手
加減ヲシテ整理ヲスルノデアルカ、其ノ點
ヲ伺ヒタインデアリマス

○吉田政府委員 桑園ノ整理ト申シマスカ、
轉作ノ問題ハ、是ハ蠶絲政策ノ立場カラ立
テタコトデハナイノデゴザイマス、今日食
糧ノ増産確保ト云フコトガ極メテ緊急重要
ナ問題デアリマスカラ、此ノ際取急イテ陸稻
ナリ、大麥、裸麥、其ノ他芋タリトモ増産フ

致シマシテ、國民ニ食糧ハ安心ダト云フ氣持ヲ與ヘルコトガ必要ダト云フノデ、急激ニ食糧品ノ増産ヲ計畫致シタノデアリマス、ソコデ此ノ食糧ノ増産計畫ノ結果トシテ、土地ノ必要ガ生ジテ來ル、其ノ結果桑園ヲ相當蠶食スルト申シマスカ、桑園ノ方ヘモ食込ム必要ガアルト云フコトカラ、此ノ食糧品ノ増産數量カラ割出シマシテ、土地ガ必要ダト云フコトデ桑園ニ對シテ六万町歩近クノモノヲ提供シロト云フ形ニナツタノデアリマシテ、蠶絲ニ對スル需給調節ヲ圖ル爲ニ繭其ノ他ヲ何割減ス必要ガアル、ソレニハ何町步減ス必要ガアルト云フコトカラ出タ數字デハナイノデアリマス、是ハ今日ハ私共ノ方ハ實ハ詳シク知ラヌノデアリマシテ、農務局等ノ食糧増産ノ計畫カラ、幾ラ増産シヨウ、ソレニハ是ダケノ土地ガ要ル、桑園ガ幾ラ欲シイ、斯ウ云フコトカラ出タノデアリマス、ソレカラ割當ノ適地主義デアリマス、隨ヒマンテ公平ニ桑園面積ニ對シテ一割何分ニ當ルカラ、何處ノ縣モ同ジニ其ノ率ヲ掛ケタモノヲ割當テルト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、跡地ガ果シテ後作物ニ適スルヤウナ土地ナラバ宜イガ、適シナイヤウナモノヲ唯面積ダケ減シテ見テ、サウシテ芋ヲ植エテモ芋ノ方ハサツパリ出來ヌヤウナコトニナツテモ困リマスカラ、後作物ノ出來得ルヤウナ土地ニ比較的多クノ桑園ヲ提供シテ貰フト云フヤウナコトニ考ガアルノデアリマス、サレバト申シマシテソレ一點張リデモ參リマセヌノデ、色々ト桑園ヲ現在面積、ソレカラ今申シマシタヤウナ後作物ノ適地的ナ考、此ノ二ツノ考ヲ織混ゼテ各縣ニ適當ニ整理面積ヲ割當ルコトニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル

○最上委員 整理桑園ニ對シテ政府ガ補償
金ヲ出ストノコトデアリマス、豫算等モ出タ
サウデアリマスガ、私其ノ内容等ニ付テ能ク
存ジマセヌガ、其ノ内容等ニ付テ、或ハ烟
トシタ場合ニ於テハドノ位、水田トシタ場
合ニハドノ位ト云フコトニ付テ御説明ガ願
ヒタインデアリマス

其ノ次ハ、本法第十九條ニハ「桑園ヲ新設又ハ擴張セントスル者ニ對シ地方長官ノ許ガ、將來政府ハ斯ウ云フヤウナ桑園ニ對シテ登録制デモ布クノデアルカドウカ、又更ニ進ンデ重要食糧デアル所ノ米麥等ノ耕地ニ對シテモ登録制ヲ布クヤウナ御考ガアリマセウカ、此ノ二點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○吉田政府委員 桑園ノ補助金ノ問題デヨザイマスガ、是ハ私ノ聞イテ居リマス所デハ、畑ノ桑ヲ拔イテ他ノ作物ニ轉作サセル場合ニハ反當六十四圓八十錢トカ云フコトニ聞イテ居リマスガ、ソレダケノモノヲ出ス、其ノ外ニ田ニ致シマスル場合ニハ獎勵金トシテ反當十七圓五十錢、此ノ二ツノモノヲ合セタモノガ水田ニ致シマス場合、畑ヲ畑ノ儘デ變ヘル場合ニハ十圓、斯ウ云フ風ニ私聞イテ居ルノデアリマス

ソレカラ桑園ノ許可制度ヲ本法ニ於テ規定致シテ居ルノデアリマスルガ、是ハ最上サンノ御考ヘニナツタ通り、今後登録制デモヤリマシテ現狀デ抑ヘテ置キマシテ、新設

擴張等ニ付キマシテハ許可制度ニ致シテ行
キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
是ハ主トシテ繩ノ値段ヲ生產費ヲ以テ補償
スルト云ツタヤウナ結果ニナリマスト、安心
ノ結果桑園ガ漸次殖エテ行クヤウナコトニ
ナリマシテ、食糧等トノ間ニ於テ問題ヲ起
スヤウナコトニナツタリ、食糧ノ増産ニ付
テ迷惑ヲ掛ケルヤウナコトニナリハシナイ
カト云フ懸念カラ、少クトモ桑園ハ現在以
上ニハ殖サヌヤウニスル、寧ロ養蠶ノ方ハ面
積ハ少クトモ反當收繩量ヲ多クシテ、サウ
シテ繩ヲ多クスルト云フ所ニ、今後ノ養蠶
指導ハサウ云フ考ヘ方デヤル、斯様ナ見地
カラ考ヘテ居リマスノデ、桑園ノ許可制度
ハ登録ヲ致シマシテ現狀以上ニハ殖サヌコ
トニ致シテ行キタイ、斯ウ云フ考デアリマ
ス

ト短纖維方面ニ多クノ繭ヲ使用サレル爲ニ
勢ヒ既成製絲會社ノ釜數ヲ整理サレルコト
ハ言フマデモアリマセヌ、現在全國ノ釜數
二十二万釜中本案通用ニ依ツテドノ位整理
サレルノデアリマセウカ、之ヲ營業製絲並
ニ組合製絲別デ御聽キシタインデアリマス、
先ヅ其ノ點ヲ……

ヒマスガ、今日各地方ニ於ケル百釜以下或ハ數千釜ノ座繰程度ノ小サナ製絲業者ニ對シテドウ云フ方針デ行クノデアルカ、三割六分程度ニ之ヲ減ラスト云フヤウナ場合ニ於テハ全然立行カナイト云フヤウナ所モ多アナルノデアリマス、是等ニ付テ政府ハ全國一律的ニヤルヤウナ御方針ノ下ニ聯合會等ニ指示サレタカ、或ハ適材適所方面ニ之ヲ整理スル意向デアルカ、其ノ點ニ付テ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○吉田政府委員 今モ申シマスヤウニ、農林省ノ方カラ指示シタト云フ譯デハアリマセヌガ、話ヲ決タル場合ノコト致シマシテ、一應決ヌマスコトハ一律ニ何割程度ハ良イモノモ悪イモノモ一律ニヤル、斯ウ一應決メナケレバ話ハ決ラナイノデサウ決メテ居ルヤウデアリマス、併シ實際問題トシマシテハ、其ノ間ニハ何ソレダケ決議ノ結果義務的ニ減サケレバナラヌ結果トシテ、残リデハヤツテ行ケヌト云フ場合ニハモウイツソノコト廢ヌテシマハウ、斯ウ云フ人モ出テ來ルグラウシ、ソレカラサウデナクテ、ソレダケノモノヲ自分デ權利ヲ買ツタヤウナ形ニシテ自分ノ義務ヲ金ヲ出し免レヨウ、サウシテ依然トシテヤツテ行カウ、斯ウ云フヤウナ考ノ人モアルグラウカラ、其ノ間ノ折衝ト申シマスカ、融通ノ仕方ハ出來ルヤウニシナケレバイケナイ、斯ウ云フコトデ話ハ進ンデ居ルヤウデアリマス、併シ個人々々ニ對シマシテ、一律ニ何割、斯ウ云フコトニ割當ハ一應致シマシタ、實際問題トシテハ、相互ノ間ニ融通ノ出来ルヤウナ途ヲ講ジテ居ルヤウデゴザイマス

○最上委員 勿論是等ノ製絲ニ對シテハ、

多分昭和十二年デアリマシタカ、サウ云フヤウナ時代モアリマシタ、政府ハ之ニ對シテ補償ハヤラナカツタト記憶シテ居リマス、今回モ勿論政府ガ補償ヲヤラナイト思ハレルノデアリマスガ、何等カ其ノ他ノ方法ニ依ツテ是ノ救濟手段ヲ講ゼラレテ居ルカドウカ、ソレカラ若シモ今聯合會等ニ於テ計畫サレテ居ル三割六分ノ一是ハ平均デアリマセウガ、廢止ヲスルト云フ場合ニ、其ノ廢止ニ對シテハ補償金ハドノ位ヤルヤウナ計畫ヲ立て居ルカ、又廢止サレナイ、マア百釜位デ三割位ナラ廢メナイ、其ノ割合以外ニ廢メヨウト云フヤウナ業者ガアル場合ニハ、同ジ三割六分ノヤウナ率ニ於テ補償サレルカ、更ニ多額ナル補償ヲサレルカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○吉田政府委員 此ノ整理ヲ致シマシタ場合ノ補償金ノ問題デアリマスガ、是ハ政府トシテハ此ノ補償金ヲ支出スルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ業者ノ間ニモサウ云フヤウナ要望モアリマシタガ、今日設備ノ過剩致シテ居リマスルモノハ、獨り此ノ製絲ニ限ツタコトデハナイノデアリマス、原料不足カラ、各工業ニ於テ設備ガ過大ニナツテ寢テ居ルヤウナ状態ニアルノデアリマスカラ、是ガ改善ノ方策ヲ立テタ場合ニ買漬スト云フヤウナ形デ、政府ノ方カラ金ヲ出スト云フヤウナコトハ、到底望ミ得ナシテコトデアルカラ、サウ云フヤウナ考ヘヲ起サズニ、自治的ニ自分達ノ仲間デ始末ヲ附ケサセルヤウナ考ヘ方デ、若シヤルトスレバ、考ヘタ方ガ宜カラウト云フコトヲ私申

○最上委員 以上デ私ハ大體ノ質問ガ終ツキシタトイト思フノデアリマスガ、之ニ依ツテ得タ結論トシテ私ハ第一點トシテ大臣ニ御伺ヒシタイトノヤウニ聽イテ居ルノデアリマス

○最上委員 以上デ私ハ大體ノ質問ガ終ツキシタトイト思フノデアリマスガ、之ニ依ツテ得タ結論トシテ私ハ第一點トシテ大臣ニ御伺ヒシタイトノヤウニ聽イテ居ルノデアリマス

○吉田政府委員 釜數整理ノ結果、必ズシモ製絲家ニ失業者ガ出來ルトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、無論實際問題トシテハ多少出ルカト思ヒマスガ、併シ小サクナツタラ小サクナツタ人達ガ、何レ繭ノ配給ヲ受ケマス場合ニ共同購入ヲヤリ、造ツタ絲ヲ會社ニ賣ル場合ニ共同販賣ヲヤルカラ、此ノ計畫ニアリマスヤウニ、企業合同トカ何トカ云フヤウナ深イ意味デ申上ゲテ居ルノデハアリマセヌガ、成ベクツツヅテヤツテ貴ヒタイ、現在デモ小サクナツタ人達ガアルト云フコトデ、今度相談ニナツテ居リマス

○高橋委員長 大臣ハ御出席ニナラレマスカラ、其ノ場合ニ更ニ御質疑ヲ御續ケ下サ席セラレマスカ

○最上委員 ソレデハ本案實施後ニ於ケル農家收入ノ減少ニ依ル生活問題ノ方ハ後デ

スモノハ、結局今後殘ツテ製絲ヲヤリマス

ヤルコトニシテ、次ノ蠶絲業各方面ニ及ボ

ス失業問題ニ付テ御伺ヒシマス、本案ヲ實施スルニ當ツテ、蠶絲業各方面ニ頗ル影響

ガアルト云フコトハ争ハレナイ事實デアリ

リマシテ、廢タル人ノ釜ヲ買漬ス、斯ウ云

フ形ニシテ、一時的ニ其ノ金ハ金融業者カ

ラ數百万圓借リテ來マシテ、サウシテ今

後數年間掛ツテ殘ツテ製絲ヲヤル者カラ一

リマセウガ、廢止ヲスルト云フ場合ニ、

ウカ、ソレカラ若シモ今聯合會等ニ於テ計

畫サレテ居ル三割六分ノ一是ハ平均デア

リマセウガ、廢止ヲスル

關係カラ今度釜敷整理ヲヤツテ設備ガ幾ラ
カ減ツタ、工合ガ悪クナツタト云フヤウナ
場合ニハ、最寄リノ人達ト一緒ニナツテ、
共同シテ繭ヲ會社カラ買ツテヤツテ行ク
ト云フヤウナコトデ相當仕事ヲ續ケ得ルト
思フノデアリマシテ、此ノ結果失業者ハ餘
リ多くハ出ナイノデハナイカト考ヘテ居リ
マス、無論實際ニ幾フカ残ツタ釜ヲ他ノ
方ニ賣ルト云フヤウナコトデ止メル人モア
ルノデアリマスガ、ソレハ任意デ止メル譯
デアリマスガ、其ノ他是カラ賣ツテ設備ガ
縮小サレタ結果、失業トマデハ行カナイマ
デモ、非常ニ仕事ガ少クナツテ困ルト云フ
ヤウナ人ハ、繭ヲ碎イテ短纖維ヲ製作スル
ヤウナ事業ニ轉業スルト申シマスカ、其ノ
事業ヲ始メルト云フコトモ私ハ望マシイコ
トデハナイカ、是ハ相當希望シテ居ルヤウ
ナ向キモアリマスノデ、ソレハ結構デアル、
サウ云フヤウナコトデヤツテ行クナラ至極
結構ナコトデハナイカ、斯様ニ申シテ居ルノ
デアリマシテ、其ノ方ノ希望ガ非常ニ多イ
ヤウデアリマス、サウ云フ状態ニナツテ居
ルノデアリマス

○最上委員 第二點トシテハ絹絲業ノ問題

デアリマスガ、今日絹絲業者ハ其ノ取扱方

ハ、上繭及ビ中繭以下ノ層繭等ニ對シテ集

荷配給ヲシテ居ルヤウナ情勢デアリマスガ、

統制會社ガ出來タ後ニ於テモ、上繭竝ニ中

居ル舞臺デアリマスカラ、此ノ舞臺ハ是等ノ

業者ノ手ニ残スト云フコトニシテ行キタイ

ト云フ考ヘデ進ンデ居ルノデアリマス

○最上委員 只今ノ御説明デ大體分リマシ

タ、中繭以下ノ層繭、生皮亭等ニ付テハ許

ス云フヤウナ御方針デアリマスガ、ソレ

ナラバ是等ノ業者ガ地方ニ共同施設組合ヲ

作ツテ、サウシテ上繭等ヲ扱ヒタイト云フヤ

ウナ希望ヲ持ツテ居リマスガ、サウ云フヤ

ウナコトヲ許サレルモノデアルカドウカ、

之ニ付テ承リタイ

○吉田政府委員 此ノ會社ガ養蠶家ノ生產

シタ繭ヲ一手ニ買取ルト云フコトニナツテ

居ルノデアリマスガ、是ハ集荷シテ會社ニ

賣込ムモノトシテ、上繭ノ方ハ原則トシテ

販賣ヲスル、現ニサウ云フ傾向ニ進ンデ居

ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ

ナル、又其ノ方ガ望マシト考ヘテ居リマス、

唯此ノ團體ガ纏メテ賣ルト云フコトニナリ

マシテモ、餘リニ行キ過ギルヤウナコトハ

私ハ適當デハナイト思フ、少クトモ養蠶家

ノ選ビ出シタ玉繭デアルトカ中下繭デアル

トカ云フモノガ相當アルノデアリマスガ、

斯様ナモノマデ團體デ纏メテ會社ニ持ツ

テ來ルコトハ、是ガ宜イカ惡イカハ別問題

ト致シマシテ、今御話ノヤウニヤレバ地方

デ相當斯ウ云フモノヲ取扱ソテ居ル者ヲ失

業セシムルヤウナコトニナリマスノデ、是

非サウ云フコトヲヤラナイデ貰ヒタイト云

フコトヲ養蠶團體デ言ツテ居リマス、要ス

ルニ其處マデ手ヲ伸バスコトヲ控ヘテ、是

等ノ人達ニ希望ヲ失ハシメナイヤウニ考ヘ

テ見ナケレバラヌ、農林省トシマシテハ

サウ云フヤウナ考ヘ方デ進ンデ行キマシテ、

等ノ人達ニ希望ヲ失ハシメナイヤウニ考ヘ

テ見ナケレバラヌ、農林省トシマシテハ

玉繭デアルトカ中下繭デアルトカ云フモノ

ノ取扱ヒ、其ノ他副蠶絲向キノ方ニ参リマ

ス生皮亭、出穀繭ト云フヤウナモノハ、斯

様ナ商人ガ今日職場トシテ主トシテヤツテ

居ル舞臺デアリマスカラ、此ノ舞臺ハ是等ノ

業者ノ手ニ残スト云フコトニシテ行キタイ

思ヒマス

○最上委員 今度新シク出來ル板上繭、是

ハ副蠶絲トシテ取扱ハセル見込デアリマス

カ、ドウデアリマセウカ

○吉田政府委員 板上繭ノ問題ハ、是ハ現

在極メテ數量ガ少クテ——ハツキリ決ステ

マシテ、斯ウ云フ制度ヲ確立致シマスル結

果ドシテ、マア理論的ニ申シマスト失業者

等ガ出ル結論ニナルヤウニ考ヘルノデアリ

マスガ、是ハ私共ト致シマシテハ今日ノ時局

柄出來得ル限リ失業者ガ出ルコトヲ防止致

シタイト云フ考ヘデ、今申シマシタヤウニ

成ベク差支ヘナイ限り職場ヲ殘スト云フヤ

ウナコトデ失業者ヲ出サナイヤウニシタイ

ガ、マア繭ト致シマシテ、此ノ會社デ集荷

致シマシテ「セリシン」定着業者ニ配給スル

○吉田政府委員 斯様ナモノニ付テ現在ノ

繭絲業者ニ取扱ハセルト云フ考ヘ方デ進ミ

マスガ、其ノ取扱フ上ニ於テ、或ハ組合ヲ

極力ナイヤウニシタイ、斯ウ云フ考ヘデ
ンデ居ルノデアリマシテ、繭ノ商人ニ付キ
マシテハ先程申シマシタヤウナ考ヘヲ持ツ
テ居リマス、ソレカラ生絲ノ取扱ヲヤツテ
居ル商人達ニ付キマシテモ、是ハ會社ガ絲
ヲ賣リマス場合ニ於テ、之ヲ使ツテ機屋ノ
方ニ流スト云フヤウナ考ヘ方モアリマス、
又非常ナ田舎ノ方面ニ於ケル小サナ僅カナ
絲等ヲ搔集メテ來テ、會社ニ持ツテ行ツタ
ノヲ買取ルト云フ必要ガアリマス場合ニヘ
斯様ナ業者ヲ使フト云フヤウナコトモ考ヘ
ル、何レニ致シマシテモ失業者ヲ出スコト
ハ此ノ際極力避ケテ行キタイト云フ考ヘデ
行ツテ居ルノデアリマス、其ノ意味ニ於キ
マシテ蠶種ノ賣賣ヲヤツテ居ル業者ニ對シ
マシテモ、出來得ル限り何等カノ職場ヲ残シ
テヤリタイト云フ考ヘデ進ンデ居ルノデア
リマスガ、是ハ其ノ點ニ於テハ前二者ニ比
較致シマシテハ中々困難ナ點ガアルノデア
リマス、併シナガラ是ハ全國的ニアル業者
デハナイヤウデアリマシテ、多ク關東地方
敷縣ニアルヤウデアリマスノデ、縣ノ當局
ニモ能ク今話ヲ致シテ居リマス、此ノ會社
ガ出來マシタナラバ農林當局トシテハ會社
當局ニ能ク話ヲシテモ宜イト思ヒマス、兎
モ角蠶種ノ配給ニ付キマシテハ、或ハ種屋
側カラ養蠶家ニ直接行クヤウナ場合ニ、サ
ウ云フコトヲシナイデ團體ヲ經由サセテ
幾分ナリト其處ニ分ケ前ガ零レルヤウナ
形——ト言ツテハ少シ失禮カ知レマセヌガ、氣
持ハ今申シマシタヤウナコトデヤリタイト
思ヒマス、府縣ノ蠶絲ノ職員ニ付キマシテ

モ斯様ナ心持デ各業者トモ能ク話ヲシテ無理ノ行カヌヤウニ——急ニ斯ウ云フ人達ガ明日カラ職ヲ失フコトニナラヌヤウニ方法ヲ考ヘテ置ケ、又業者ノ間ニモ話ヲ致シテ研究サセルヤウニシテ置ケト云フコトヲ現ニヤツテ居ルノデアリマス、斯様ナ心持デ行ツテ失意サセルコトガナイヤウニ、或ハ此ノ會社ガ出來マシタナラバ、場合ニ依ツテハ斯ウ云ツタヤウナ人ヲ蠶種ノ配給ノ末端ニ於テ使用スルト云フコトモ相當起キテ來ルコトト思フノデアリマシテ、サウ云フ場合ガ出來マスレバ大變結構ト思ヒマス、何様斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、極力失業者ノ出來ナイヤウナ方法ヲ講ジタイ、斯ウ云フ考ヘデ苦慮致シテ居ル次第デアリマス

ニ相成ルノデゴザイマスガ、ドウカ竇絲局長カラ大臣ニ能ク御取次ギ下サイマシテ、然ルベキ時ニ大臣ノ御答ヘヲ御願ヒ致シタ
ソコデ此ノ竇絲業統制法案ニ關係シテ御尋ネ申上ゲタイト思フコトハ、繭絲用途ノ民衆化ト云フコトニアリマス、御案内ノ如クアガ竇絲ハ今ヤ化學纖維ノ發達、日米國交ノ惡化、七・七禁止令ノ實施、支那竇絲業ノ擴張ト云フ四大暗礁ニ乗上ゲマシテ容易ナラス苦境ニ陥ツテ居ルヤウニ思フノデアリマスルガ、此ノ時ニ際シ此ノ竇絲業統制法ノ助ヶ船デ此ノ四大暗礁ニ乗上ゲタ竇絲丸ヲ引下シテ安全ニ航海ヲ續ケルコトガ出來ルト云フ御考ヘデアルカドウカ、私ノ所見ヲ以テ致シマスレバ、繭絲ノ一般的民衆的新用途ノ發見ト云フコトガ本法ノ實施ト相俟ツテ實現スルニアラザレバ到底竇絲丸ノ安全航海ト云フコトハ期シ得ラレヌコトト思フノデアリマス、尤モ政府ハ夙ニ此ノ點ニ着眼セラレマシテ、是ガ發明發見ト云フコトニ力ヲ致シテ居ラルルヤウデアリマスケレドモ、未ダ以テ吾々ヲシテ愁眉ヲ開カシムルニ至ルモノガアルトハ思ハレナイヤウデアリマス、成程彼ノ羊毛代用、綿絲代用ノ研究ハ或ル程度マデ進ンデ居ルニハ相違アリマスマイガ、未ダ以テ一般的且ツ民衆的ナ羊毛代用品、綿絲代用品トシテノ研究ガ出来テ居ナイヤウニ思ハレマス、ソレデ私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、絹絲ガ綿絲代用品トシテ脚綺ヤ股引ニ仕立テラレ、ドン之ヲ着テ這入ルト云フ所マデ其ノ用途ニ進ム發明發見ノ研究ガ出来ナケレバナラモ、畑ノ中ヘデモ何處ヘデモ構ハズニドン

ナイ、又必ず是ハ出來得ルモノデアルト私

ハス様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウ

云フ點ニ付テノ當局ノ御所見ハ如何デアリ

マセウカ、之ヲ一ツ御尋ネ申上ガタイト思

フノデアリマス。

○吉田政府委員 此ノ絹絲纖維ノ用途ノ大

衆化ト云フ問題、ソレカラ新規用途ノ開拓

ト云フ問題ニ付キマシテハ、先年來色々ト

用意ト研究ヲ重ねテ參ツタノデアリマス、

當時ハ主トシテ生絲ニ致シマシテ、生絲ノ

形デ色々ナ方面ニ使ハウト云フコトデ色々

ナモノヲ造ツテ見マシタ、或ハ「ロープ」ヲ

得ルト云フ途モ發見サレテ居ルノデアリマ

スガ、ソレヨリモ此ノ研究ト共ニ繩ノ纖維

ヲ碎イテ之ニ「セリシン」定着ノ加工ヲ致シ

マスト、羊毛ト全ク同ジ形ノ纖維ニナルト云

フコトガ發明サレマシタ結果、此ノ「セリシ

ン」定着ト云フコトニ依ツテ羊毛代リニ使フト

云フ用途ガ發明サレタコトガ、大部分ノ新用

途ノ開拓ト申シマスルカ、繩纖維ヲ民衆的ニ使

ハセル上ニ於テ貢獻シタモノト考ヘテ居ルノデ

アリマシテ、其ノ發明ガアリマシタ結果、先年來

纖維不足ニナリマシテ今マデ燒棄テ居ツタ

蟲等ガ非常ナ値段デ以テ買ヒ進マレルト云

ツタヤウナ現象マデ起シタコトハ御承知ト

思フノデアリマス、是ハ偏ニサウ云フ發明

ガ出來、且又其ノ發明ニ基イテ羊毛業者等

ガ之ヲ使用シタ結果デアルノデアリマス、今

日此ノ方面カラノ此ノ纖維ニ對スル需要ハ

非常ニ旺盛ナノデアリマス、隨ヒマシテ今後

繩纖維トシテノ用途ヲ敢テ生絲ニシテ使ハ

セルト云フコトバカリ考ヘル必要ハナイノ

デアリマシテ、繩纖維ヲ今申シマシタヤウ

ナ化學處理ヲ致シマシテ羊毛ノ代用ト云フ

形ニ於テ消費サセルト云フコドニナリマス

レバ、今日生產サレテ居リマスル程度ノ蠶

絲ノ生産物ニ付キマシテ、消費ニ付テハ心

配ガナイモノト、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、

今度ノ計畫ニ於キマシテモ、今後此ノ會社

ガ生產計畫ヲ立テテ、一手ニ買取ツタモノ

ヲ消費サセル計畫ヲ立テテ、其ノ計畫ニ從

ツテ之ヲ流シテ行クト云フ場合ニ於キマシ

テモ、相當此ノ方面ニ向ケルベキ用意ヲ立

テ置ク必要ガアラウ、斯様ニ考ヘテ居リ

マス、此ノ方面ノ用途ハ非常ニ今後ハ擴大

シテ行クモノト考ヘテ居リマスノデ、吾々

ト致シマシテハ無論今日明日ト云フ譯ニ行

キマセヌガ、一朝事ガアリマシタ際ニ、會

社ガ一時手持ニナリマス繩又生絲ノ處理ニ

付キマシテハ、相當期間ニ於キマシテ、斯

様ナ方面ニ向ケルト云フコトニ依ツテ、十

分消化シ得ルモノト信ジテ居ル次第デアリ

マス

ス

○吉田政府委員 先程申シマシタヤウナ絹

絲纖維ヲ以テ脚絆、股引マデ作ルヤウナ研

究ガ出來テ居ルカト云フ御質問デアリマス

ガ、是ハ結局値段ノ問題ガ關聯致スト思フ

ノデアリマシテ、無論安ク致シマスレバ、

技術的ノ問題ト致シマシテハ出來ルト思ヒ

マス、モウ一つ日本人ノ感情カラ致シマシ

テ、脚絆ニシテ水田ニ入ルト云フヤウナコ

トハ、縱シソレガ値段ガ安クナツテモ、斯

ウ云ツタヤウナコトハ中々別ナ意味ニ於テ

困難ナ問題モアルカト思フノデアリマス、

併シナガラ此ノ大體八千万貫程度ノ繩纖維

ト云フモノハ、他ノ纖維ト比較致シマスト

舞臺ガ極メテ小サイモノデアリマス、隨ヒ

マシテ絲デ今日使ツテ居ルダケノモノヲ使

フ、アトノモノヲ他ノ方面ニ向ケルト云フ

コドニ付キマシテモ、股引、脚絆マデ迎モ

及ボシ得ナイノデアリマシテ、少シ「ス・フ」

ナリ、洋服ニ使ハレテ居ル舞臺ヘ三、四割モ

入り込ンデ行カセルト云フコトニ依ツテ、

モウ既ニ濟ンデシマフ位ノモノデアリマス、

ハ、實際的ニ此ノ絹絲ガ綿絲同様ノモノト

シテ使ハレルヤウナ所マデ、研究ガ出来テ

居ルカドウカト云フコトデアリマス、一寸

申上ガマスガ、繩纖維デ脚絆ヤ股引ヲ拵

ヘテ、綿絲ノヤウナ心持デ農家ガ之ヲ實用

リト考ヘ、先年來國立蠶絲試驗場ヲ擴張シ

テ、此ノ纖維ノ研究ヲナサシムルコトガ、

我が國最大ノ急務デアルト云フコトヲ、

唱道致シタノデアリマスガ、時代ノ變

ノ幹族、ニ依リマシテ、蠶絲科學研究所ノ實

化推移ニ鑑ミ、昨年ノ議會ニ於テハ特ニ

高級纖維ノ研究機關ノ設置ヲ提唱致シタ

ノデアリマシテ、無論安ク致シマスレバ、

技術的ノ問題ト致シマシテハ出來ルト思ヒ

マス、モウ一つ日本人ノ感情カラ致シマシ

テ、脚絆ニシテ水田ニ入ルト云フヤウナコ

トハ、縱シソレガ値段ガ安クナツテモ、斯

ウ云ツタヤウナコトハ中々別ナ意味ニ於テ

困難ナ問題モアルカト思フノデアリマス、

併シナガラ此ノ大體八千万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

力ヲ之ニ入レテ、大イニヤラセヨウト云フ

ヲ達スル爲ノ試驗研究ハ、思フヤウニ十分

ヤウニ、僅カニ百七十萬圓ノ寄附金ト政府

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ノ助成金八万圓位デハ、纖維國策ノ大目的

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

リマス、隨ヒマシテ今直チニ寄附金ヲ増額スルト云フヤウナコトモ困難トハ思フノデアリマスガ、仕事ヲヤツテ參リマスル上ノ經常費ノ支出ニ付キマシテハ、色々ト他ノ方法デ工面ヲショウ、研究ノ上ニ於テ決シテ支障ノナイヤウニシヨウト云フコトデ、關係當局ニ於キマシテハ、意見ガ一致致シテ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ、政府ト云フ意味デハゴザイマセヌ、研究所ノ當局デハ意見ガ一致致シテ居リマス、今後研究ヲ十分ニ擴メテ、徹底的ニヤツテ行キマス上ノ研究ノ經費ニ付キマシテハ、決シテ事缺カナイデ行ケルヤウニシヨウト云フコトニ付テ、意見ガ一致致シテ居リマス、今後此ノヤウナ改正ニナリマスレバ、或ハ大學デアリマストカ、或ハ業者ノ研究所ヲ持ツテ居ル所デアリマストカ云ツタ方面ト連繫ヲ致シマシテ、廣ク而モ深ク研究ヲ十分進メテ行キタイト云フ段取テ今日進ンデ居ルコトヲ、此ノ際申上ゲテ置キマス○加藤(知)委員 マダ創立匂々ノコトデアリマスカラ、御無理ハナイト存ジマスケレドモ、研究ニ携ハル方ノ大部分ガ囑託ト云フヤウナコトデアリマス、今日蠶絲ト他織維トノ比較研究ハ、モウ焦眉ノ急ナノデアリマスカラ、願クバ一ツウント其ノ經費ヲニ對スル所ノ大臣ノ御考ヘデアルカ一ツ局長カラ御確メ下サイマシテ、之ニ國家モ全力ヲ傾倒スルヤウニ御願ヒヲ致シタイト思フノデアリマス

絲業ノ實情ニ鑑ミ、蠶絲業ノ經營ヲ國家管
理ニスルコトノ緊要ナコトヲ認メマシテ、
時ノ島田農相ニ此ノコトヲ提唱シタノデア
リマスガ、其ノ際政府ニハ左様ナ考ヘナシ
トノ御答辯デアツタノデアリマス、併シ僅
カ一年後ノ今日、此ノ蠶絲業統制法案ト云
フ國家管理ニ關スル法律案ヲ此ノ議會ヘ提
案サレタ、此ノ御英斷ニ對シテ私ハ多大ノ
敬意ヲ表シ、又其ノ促進ニ對シテ感謝ノ意
ヲ表スル者デアリマス、サリナガラ先刻來
最上委員ノ質問ニ對シテノ局長ノ御説明等
ヲ伺ヒマスト、本法案ヘ從來ノ如ク生絲輸
出業者ノ自由販賣ヲ御認メニナツテ居ルノ
デアリマス、此ノ點ニ付テ更ニ私ハ御伺ヒ
シタイト思フノデアリマスガ、今度此ノ法
律ニ依テ新設セラル所ノ統制會社、ソ
レニモ直輸ヲサセルノデアルカドウカ、又組合製
絲業者ニシテ直輸ヲヤツテ居ル者ガアル
ノデアルガ、ソレニモヤハリ從來ノ如ク直
輸ヲヤラセルノデアルカドウカト云フ
此ノ四點ニ付テ此ノ場合ハツキリト一ツ御
伺ヒシテ置キタイト思フノデアリマス
○吉田政府委員 統制會社ニモ直接輸出サ
セルカ、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、是
ハ先程モ申上げマンシタヤウニ、此ノ法律ハ
輸出生絲ノ販賣方面ニ付キマシテハ、此ノ會
社デ一手デ買取ツテ一手ニ賣ルト云フコト
ヲ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、此ノ絲
ハ現在ノ指定シタル製絲家ガ造ツテ、或ハ
直接ニ賣リ或ハ輸出屋ヲ通ジテ賣ル、海外
へ出ス、斯ウ云フ關係ニナツテ居リマスノ
デ、直接ニハ此ノ會社ガヤルコトヲ考ヘテ
居リマセヌノデアリマス、ソレカラ從來ノ

○吉田政府委員 ソレハ少シ話ガ違フノデ
アリマシテ、此ノ會社デ横濱、神戸ヘ出マ
シタ生絲ヲ輸出業者ガ市場ニ於テ買フコト
ヲヤルノカヤラヌノカト云フ問題カト思フ
ノデアリマス、ソレハ買フコトハ買フノデ
アリマス、併シ直接此ノ會社ガ、是ハ今後
ノ問題ト思フノデアリマスルガ、米國ニ支
店ヲ持ツテ自分デ直接所謂直輸ト稱シテ輸
出業ヲヤルカヤラヌカ、斯ウ云フ問題ダ
ト考ヘマシタノデ、サウ云フ考ヘハ持ツテ
居ラヌノデアリマス、隨テ買ツタ輸出生絲
店ヲ或ハ輸出業者ニ販賣シテ、所謂輸出業者
者デハナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ
考ヘ方デ居ルノデアリマス
○加藤(知)委員 今マデ屢々、非公式ニ政府當
局ト意見ノ交換ヲ致シタノデアリマスガ、
其ノ際ニハ私共此ノ統制會社ニモ輸出セシ
ムルト云フ御意見デアツタヤウニ承知シテ
居リマシタガ、此ノ統制會社ニヤラセルト
云フコトニナリマスレバ、所謂三本建デ輸
出生絲ヲ取扱フコトニナルモノト考ヘテ居
タノデアリマス、然ルニ只今ノ御説明ニ依
ルト此ノ統制會社ニハヤラセナイガ、組合
製絲ニハ希望ガアレバ之ヲヤラセル、製絲
家ト、輸出業者トハ從來ノ通り、輸出セシ
ムルコトニ政府ノ御考ヘハ決マツテ居ルノ
デアリマスカ

ヲ通ジテ出ルト云フヤウナコトハアリ得ル
コトカト思フノデアリマス、直輸ヲ此ノ會
社ガスルカドウカト云フ問題ハ考ヘテ居ラ
ナイ、斯ウ申シタノデアリマス
○加藤(知)委員 此ノ會社ガ直輸ヲヤルト
云フコトハ考ヘテ居ラスト云フコトデアリ
マスガ、サウスルト詰リ此ノ會社ハ横濱、
神戸ノ輸出業者ニハ其ノ生絲ヲ賣ルガ、米
國其ノ他ノ外國ヘノ直輸ハサセナイ、斯ウ
云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ
マシテ、今日具體的ニ申シマスレバ片倉ダ
ノ郡是ダノガ向フデ特定ノ店ヲ持ツテ所謂
直輸ト稱シテヤツテ居リマスガ、サウ云フ
式ノヤリ方ヲ此ノ會社ガヤラセルカドウ
カ、斯ウ云フ御意見デアリマシタカラ、ソ
レハサウ云フコトハ考ヘテ居ラナイ、無論
是ハ絶対ニ——例ヘバ委託輸出ト云ツタヤ
ウナコトデアリマス、先程モ申シマシタヤ
ウニ例ヘバ市場カラ或ル程度此ノ會社ハ輸
出絲ヲ買取ルト云フコトハアリ得ルノデア
リマスカラ、其ノ手持ニナツタ絲ノ處分ノ
問題ニ付キマシテハ、必ズ之ヲ内地デ處分
スルト云フコトニ決メテ居ル譯デハアリマ
セヌ、是ハ輸出屋ニ賣ツテ結局海外ヘ流ス
ヤウナ賣リ方ヲスル場合モアリマス、其ノ
考ヘラレルカモ存ジマセヌガ、私ハ直輸ト
カ輸出業者ニ委託シテ、會社ノ計算ニ於テ
委託輸出ヲスルト云ツタヤウナコトハ是ハ
絲ヲ「アメリカ」ヘ持ツテ行ツテ「アメリカ」
ノ機屋ト直接海外デ商賣ヲスルヤウナヤリ
申シマスルノハ「アメリカ」ニ店ヲ持ツテ一
手デ——一手ト申シマスルカ自分ノ買ツタ

ノデ、サウ云フコトハ考ヘテ居ラナイ、斯

様ニ御答ヘシタ譯デアリマス

○加藤(知)委員 統制會社直輸ノコトハ只

今ノ御説明デ分リマシタガ先刻來伺ツテ居

ルト、本法デハ唯蠶種、繭、生絲ノ生產部

門ノ統制ダケデアリマシテ、生絲ノ輸出放

云フ方ニナリマスルト、從來ノ如ク自由放

任、斯ウ云フコトニ相成ル譯デアルト思フ

ノデアリマス、是デハ折角蠶絲業百年ノ大

計ニ資スペク制定セラレマシタ此ノ法案ニ

畫龍點睛ヲ缺クノ憾ミガアルノデゴザイマ

シテ、吾々共ノ多年唱道致シマシタノハ決シテ

全ク的外レニナツタヤウナ心持ガ致スノデ

アリマス、私ガ此ノ絲價ノ安定、輸出ノ統

制ト云フコトヲ主張致シマシタノハ決シテ

昨今ノコトデハゴザイマセヌ、實ニ永年ニ

瓦ルコトデアリマシテ、就中去ル昭和八年

ニ親シク米國ノ絹業狀態ヲ視察致シマシタ

以來ハ益其ノ絲價ノ安定、輸出統制ノ必要

ヲ痛感致シテ居ルノデアリマス、爾來機會

アル毎ニ私ハ之ヲ唱道シテ居リマシタコト

ハ政府當局、殊ニ蠶絲局長ハ能ク之ヲ御承

知ノコト存ズルノデアリマス、而シテ是

ハ私バカリガ斯様ナ唱道ヲ致シテ居ル譯

デハゴザイマセヌ、片倉製絲ノ今井五介氏

ノ如キモ、私ト同様去ル昭和八年ニ渡米セ

ラレマシテ、同様ナ感ジヲ持ツテ歸朝セラ

レタノデアリマス、殊ニ同氏ハ又復昨年米國

ノ萬國博覽會へ出張セラレ、長ク彼地ニ滞

在シテ、能ク向フノ事情ヲ調査セラレタノ

ナ次第テ日本間ニ生絲貿易ノ存續スル限り

ハ、必ズ之ハ斷行セナケレバナラナイ重要

問題ト相成ツテ居ルノデアリマス、然ルニ今

回新タニ蠶絲統制株式會社ガ出來マシテモ

トデハ、何ノ爲ニ此統制會社ヲ造ルノカ意味

ガ分ラヌコトニナル、何トナレバ會社ハ出

テモ依然トシテ米國絹業者ノ不安ヲ除去ス

ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、米國

絹業者ノ不安ヲ除去スルコトガ出來ナケレ

バ、我ガ生絲ノ米國ヘノ輸出ガ依然トシテ減

退スルコトハ到底免レ得ザル現象デアルト

私ハ茲ニ斷言シテ憚ラナインデアリマス、局

長モ御存ジノ通り、私ガ先年渡米致シマシ

タ際ニ、幾多ノ米國ノ絹業者ニ會ヒマシテ、

日本生絲ニ對スル意見ヲ尋ねタノデアリ

マスガ、何レモ皆異口同音ニ、日本ハナゼ

絲價ノ安定ヲヤラニカ、日本ノ絲價ガ

安定シナイ爲ニ、恐ロシクテ日本ノ生絲ヲ

買フコトガ出來ナイト申シテ居タノデアリ

マスガ、就中私ハ常ニ御話ヲシテ居ルノデアリ

マスガ、「シカゴ」在ノ「ハイネマン」ニ特ニ

私會ヒマシテ、自分ガ老軀ヲ提ゲテ此ノ「ア

メリカ」へ來タノハ、アナタニ會ウテ忌憚ノ

マスガ、「シカゴ」在ノ「ハイネマン」ニ特ニ

私會ヒマシテ、自分ガ老軀ヲ提ゲテ此ノ「ア

吾々ハ長イ間日本ノ生絲ヲ使ヒ慣レテ居ル

ノデアルカラ、喜ンデ日本ノ生絲ヲ買フノ

デアル、ケレドモ斯クノ如ク暴騰暴落ガ甚

ダシクテハ、買ヒタクモ買フコトハ出來ナ

イ、使ヒタクテモ使フコトハ出來ナイ、是

ガ爲ニ、人造絹絲ノナイ時代ハイザ知ラズ、

人造絹絲ト云フモノガ出來タ以上ハ、片端

カラ其ノ方へ轉向スルコトニナルノデアル

カラ一日モ早ク絲價ノ安定ヲヤツラドウ

カ、斯様ナコトヲ申シタノデアリマス、此事

ハ私蠶絲局長初メ他ノ人々ニヨク話ヲシテ

居ルコトデアリマス、又蠶絲局長モ長ク向フ

ニ居ラレタカラ米國絹業者ノ日本生絲ニ對

スル心持チハ能ク御承知ノコトデアリマス、

此ノ「ハイネマン」ノ私ニ言ヒマシタ若シ絲

價ガ安定スルナラバ、少々高クテモ喜ンデ

スル心持チハ能ク御承知ノコトデアリマス、

テ絲價ヲ一定シテ、之ヲ直輸セシメテモ、

更ニ何等ノ心配ハ要ラナイト斯様ニ考ヘル

ノデアリマス、併シ私ハ會社ニ直輸セシメ

組合聯合會が決議致シマシタ、アノ趣旨デ

ナケレバナラヌト云フコトヲ今此處デ主張

スルモノデハアリマセヌ、私ハ全國製絲業

デアル、ケレドモ斯クノ如ク暴騰暴落ガ甚

ダシクテハ、買ヒタクモ買フコトハ出來ナ

イ、使ヒタクテモ使フコトハ出來ナイ、是

ガ爲ニ、人造絹絲ノナイ時代ハイザ知ラズ、

人造絹絲ト云フモノガ出來タ以上ハ、片端

カラ其ノ方へ轉向スルコトニナルノデアル

カラ一日モ早ク絲價ノ安定ヲヤツラドウ

カ、斯様ナコトヲ申シタノデアリマス、此事

ハ私蠶絲局長初メ他ノ人々ニヨク話ヲシテ

居ルコトデアリマス、又蠶絲局長モ長ク向フ

ニ居ラレタカラ米國絹業者ノ日本生絲ニ對

スル心持チハ能ク御承知ノコトデアリマス、

此ノ「ハイネマン」ノ私ニ言ヒマシタ若シ絲

價ガ安定スルナラバ、少々高クテモ喜ンデ

ハ出来ヤウケレドモ、左様ナコトハ長ク續クモノデハナイ、永久無限ニ此ノ生絲貿易ハ續クモノト考ヘナケレバナラヌガ、甚ダ失禮ナガラ、アナタノ會社ガ終始ソレヲ繼續シテヤレルモノデハナイ、アナ方ガ常ニ左様ナ投機的ナ考ヘヲ持ツテ、而モ競争シテ安賣ラスルト云フヤウナコトハ、日本ノ蠶絲業ニ惡影響ヲ及ボスコト甚大ナルモノガアルカラセメテハ日本ノ輸出商ダケデモ團結シテ、サウシテヲ一ツ會社ニ取纏メテ、五分カ一割ノ口錢ノ程度デ之ヲ賣ルヤウニ致シタナラバ如何デアルカ、斯クスレベ米國絹業者ハ皆喜ンデ安心シテ日本ノ生絲ヲ使フヤウニナリ、アナタ方ノ商賣モ健全ニヤレルコトニナツテゾレガ又日本蠶絲業ノ爲ニドレダケ宜イコトデアルカ分ラナイ、五分トカ一割ノ口錢ニナツタラ、ソレニ満足ノ出來ナイコトモナカラウデハナイカト、斯様ニ私ハ申シタノデアリマス、其ノ時其ノ主任ハ、五分トカ一割ノ口錢ニナルナラバ、ソレ程結構ナコトハナイ、左様ナコトガ出來レバ實ニ結構ナコトデアルガ、如何セン、ソレハ事實出來ナイコトダカラ已ムヲ得ズ吾々ハ現在ノヤウナヤリ方ラシテ苦シニ居ルノデアルト、斯様ニ申シテ居タノデアリマス、其ノ主任ノ言ツタコトハ私ハ眞ノ告白デアルト思フテ居ルノデアリマスガ茲ニ日本ノ生絲輸出ニ於テ非常ナ弊害ガテ居ルノデアリマス、恐ラク現在横濱ノ輸出業者中ニモ其腹ノ中ヲ探ツタナラバ今ノ主任ノ言ツタヤウナ考ヘヲ持ツテ居ル者ガ

多クアルマイカト思フノデアリマス、尤モ
統制會社ガ一手ニ之ヲ引受ケテヤルコトニ
ナリマスト、横濱ノ清算取引ノ人々ハ極
力之ニ反対スルコトデアリマセウ、是ハ
立場上已ムヲ得ザルコトデアリマスカラ、
政府ハ折角割期的ナ此ノ法案ヲ持ヘテ日
本ノ蠶絲業ヲ未倒ニ救ハントセラルルノ
デアリマスカラ、今一步ヲ進メテ輸出部
マデ此ノ統制ノ範囲ヲ擴張セラレテハ如何
デアルカ、先刻御述ベニナリマシタ品質ノ
低下ナドト云フコトハ、殆ド私ハ御懸念ノ
必要ハナイト思フ、賞罰ヲ明カニシテ能ク
之ヲ嚴重ニ監督シマスレバ立派ナ生絲ヲ作
ラセルコトニ於テ心配ハナイト思フノデア
リマス、又此ノ會社ト政府トノ表裏云々ノ
關係カラ輸出マヂヤツテハ米國絹業者ニ嫌
ナ感ジラ興ヘハセヌカト云フ御懸念モアル
ヤウデアリマスケレドモ、既ニ政府ガ此ノ
法律案ヲ御出しニナツタ以上ハ、何等其ノ
點ニ付テ御懸念ナサル必要ハナイト思フ、
殊ニ此ノ會社ガ直輸スルノデハナク問屋カ
ラ輸出業者ノ手ヲ經テ海外へ持チ出ス以上
ハ、從來ノ如ク輸出業者ト向フノ絹業者ト
ノ取引關係ニナルノダカラ何等ノ心配ハ要
ラナイト思フガ、此ノ點ニ關シ政府ノ御考
ヘヲ伺ヒタイノデアリマス

コトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ價格安定ノ問題ニ付キマシテハ、現在ヨリハ餘程其ノ意味ニ於テ改善サレルコトニ相成ルコトト存ジテ居リマス、唯理想ノ形ト申シマスカ、會社ガ一手ニ買ツテ、會社デ以テ決メタ値デ一手ニ賣ルト云フコトガ其ノ通り實現ヲ見得ルモノト致シマスレバ、一本値ト云フコトニナリマスガ、一本値ト云フ程マデニ徹底シテハ居リマセヌガ、相當ノ狭い値幅ニ於テ、所謂可動性ノアルト云フコトニ相場ハナルノデアリマシテ、相當此ノ點ニ付キマシテハ、此ノ相場ト云フモノハ從來ノヤウニ暴騰暴落ト云フコトハ免レルコトト存ズルノデアリマス、ソレヲ唯會社ガ一手買取り、一手販賣ト云フコトニ依ツテ徹底シタ一本値ト云フコトニナラナイダケノコトナノデアリマス、所謂小サナ波ハアルデアリマセウガ、暴騰暴落ト云フモノハ、今後ニ於テハ實際ニ於テナクナ議論モアリマス、寧ロ自由經濟ノ國ノ商人ニテマルト思フノデアリマス、此ノ一本値ガ理想デアルカナイカト云フ問題ニ付テモモノハ、今後ニ於テハ實際ニ於テナクナ行キマス、要スルニ値段ニ妙味ガアルト云ツタヤウナ關係カラ中間ノ商人デアリマストカ、或ハ撚絲方面ニ加工ヲシテ販賣スル業者デアリマストカ云フ方面ニハ、謂ハバ妙味ガアル、斯様ナ關係カラ寧ロ其ノ方ガ宜シイト云フ議論モアルヤウデアリマス、アリマスガ、是ハ何レニシテモ相當價格ノ安定ニ付キマシテハ、現在ノ制度ニ於テモ徹底シタル安定方策ハ立テラレテ居ルノデアリマス、唯會社ガ一手ニ買ツテ、一手

ニ賣ルト云フヤウナ形ニナラナイト云フダ
ケデアリマシテ、此ノ點ハ、決シテ野放シ
ニシテ置イテ、暴騰暴落ヲ其ノ儘ニシテ置
クト云フコトニハナラナイ、其ノ點ハ十分
考慮致ス積リデアルト云フコトヲ御諒解ヲ
願ヒタイト思フノニアリマス
○加藤(知)委員　只今局長カラ色々ト御説
明ハアリマシタガ私ハ此ノ際全國製絲業組合
聯合會當局ノ輸出生絲貿上販賣ノ必要ナル理
由ト云フモノヲ茲ニ朗讀致シマシテ、政府當
局ノ御考慮ヲ煩シタイト思フノニアリマス
一、蠶絲業ノ合理的統制ヲ斷行セントスル
以上、生産、販賣、消費迄一貫シテ統制ト
スペキモノニシテ輸出生絲ヲ自由販賣ト
スルハ甚ダ不徹底ナリ
二、絲價ノ安定ハ生産、消費兩者共ニ安心
シテ其ノ事業ノ發展ニ專念セシムル爲メ
必要ナル事項ナリ
殊ニ海外消費者ハ一定價格ノ取引ヲ熱望
シ居ルヲ以テ其ノ要望ニ應シ生絲需要ノ
増進ヲ圖ルコト緊要ナリ
三、絲價安定施設法ニ依ル原價ノ制高制低
ハ從來ノ經驗ニ徴シ大ナル缺點ヲ有シ之
ヲ以テ價格ノ安定ヲ期セントスルハ容易
ナラズ其ノ値幅ヲ縮少スレバスル程煩雜
ニシテ其ノ操作極メテ困難ナリ依ツテ寧
ロ統制會社ニ於テ一手ニ一定價格ヲ以テ
賈入販賣スルニ如カズトス
四、從來生絲ガ海外消費者ノ手ニ渡ルトキ
多クハ輸出商ノ私票ヲ以テ販賣セラレ且
ツ折角ノ検査格付表モ添付セラレザルガ爲
メニ生産者ノ工場名モ生絲ノ真價モ消費者
ニハ徹底セズ從ツテ品質ノ改善モ行ハレザ
ルヲ以テ生絲ハ第二者格付原票ヲ儘委託輸
出セバ容易ニ其ノ弊害ヲ除去シ得ベシ

五、輸出生絲ト國用生絲ハ常ニ其ノ需給ノ調節ヲ爲ス必要アリ殊ニ今回ノ統制ガ國際情勢ノ緊迫ニ鑑ミ和戰兩面ノ必要ヨリ促進セラレタルモノナリトスレバ寧ロ和戰兩様ノ操作ニ當リ容易ニシテ且混亂ヲ來サザル様、輸出、國用ノ兩者ヲ一手ニ統制スルコト必要ナリトス

六、支那ノ輸出生絲ハ日支經濟提携ノ精神ノ下ニ現在相當ノ統制ガ行ハレ居ルモ若

シ我國ニ於テ輸出生絲ノ販賣ヲ統制ノ埠外ニ置クトキハ支那生絲ハ此際ニ際シ海外ニ進出スルハ免レザルヲ以テ支那ニ於ケル蠶絲業モ、我一元化統制同様ナル

ノデアリマス、併シナガラ轉作減反ヨリモ間減反ノ方ガ宜イノデハナイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、局長ノ御説明デト云フヤウニ承ツタノデアリマス、併シナガラソレヲ割當ナルハ宜シイガ、同ジ桑園デモ米ヤ麥ノ良ク出來ル所ニハ桑ガ良ク

十

分

御

考

慮

ア

ラン

コ

ト

ヲ

希

望

シ

テ

此

ノ

質

問

ナ

シ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

ヒ

マ

ス

ト

終

リ

タ

イ

ト

思

イコトデアリマス、是ガ爲ニ從來ノ輸出版路ハ成ベク維持シツツ、一方ニ於テハ國內ノ纖維政策ヲ立テテ、製絲界ノ最惡ノ場合デモ打撃ヲ少クスルト云フコトガ考ヘラレネバナラヌト思フノデアリマス、今回ノ統制會社ノ出來マシタノモ其ノ趣旨ニ基イテ出来タモノト思ヒマスガ、今度ノ統制會社ニ付テ御聽キスルト同時ニ製絲及ビ織維ノコトニ付キマシテ御尋ネ致シタイト思ヒマス
製絲ト織維其ノ他我ガ國ノ全纖維ニ關シマシテ需給計畫ヲ確立セナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ既ニ計畫ガ立ツテ居ルコトデアルト思ヒマスガ、之ニ對シテ政府ハ數字的ニドウ云フ割合ヲ以て此ノ對策ヲ考ヘテ居ラレルノデアルカ、或ハ又製絲及び織維ニ關スル所ノ輸出竝ニ國內用ノ需要ノ目標ヲ立テマシテ、之ニ基イテ計畫生産ヲナサネバナラヌト思ヒマスガ、ソレニ關聯シテ桑園ノコトニモ言及シタイト思ヒマス、先程政府ノ御説明デハ今度桑園ノ轉作ハ食糧政策ノ爲ダト言ハレマス、勿論食糧ノ現在ノ情勢ニ於キマシテハ此ノ點モ必要ダト思ヒマスケレドモ、又蠶絲對策上方面モ一應考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、桑園ヲ轉作シテ之ヲ復タ桑園ニアリ譯デアリマス、ソコデ今度ハ食糧問題ノ居ツタコトハ、ソレハ絲價ノ騰落ニ依リマシテ養蠶ヲシタ方ガ便利ナ時ハ直チニ桑ヲ植エ、又少シ織ノ値段ガ安クナレバ、扱クト云フノデ、植エタリ扱イタリスル、此ノ爲ニ農家ハ非常ニ今マデ迷惑ヲ來シテ居ツラレル、斯ウ云フコトニナリマスト、又何

ト云フ 時期ガ來ルノデハナカラウカ、國策
國ノ養蠶ヲ其ノ程度ニ維持シテ行カレルト
ナイカ、今回他ニ轉作セラレルノハ一割見
當ダト思ヒマスケレドモ、將來ヤカリ我方
云フノデアルカ、或ハ一時的食糧ノ困難ノ
爲ニ轉作スルト云フ御見解デアルカ、先程
他ノ委員カラモ御話ニナリシタ通リニ、
我ガ國トシテ桑園ヲサウマデ水田或ハ畑地
ニ轉作セナクトモ、マダ荒廢シテ居ル所ノ
面積、原野ト云ヒマスカ、畑地デ荒廢シテ
アルモノ、或ハ田地デ荒廢シテアルモノガ
相當多イト思フ、最近畑地ノ荒廢ハ非常ニ
多イ、其ノ荒廢シタ畑地ヲ或ハ米作ナリ或
ハ他ノ食糧作物ニ向ケ變ヘテ、桑畑ヲ轉作
スルト云フコトハ一應考ヘナケレバナラヌ
ト思フノデアリマスガ、此ノ點ハヤハリ最
初ノ御方針ノ通りニ桑畑ヲ水田若クハ畑地
ニ轉作スルト云フノデアルカ、又將來其ノ
一割減ヲ以テ維持シテ行カレル積リデアル
カ、我ガ國ノ纖維ノ國內用ト輸出用トノ目
標ト云フモノヲ立テオヤリニナルノカ、
此ノ點ヲ一應御説明願ツテ置キタイト思ヒ
マス

位轉植ヲ致シマシテモ、殘ツタ桑園デ十分
取レル、斯ウ云フ見込ミデアリマス、現ニ
只今申上ゲタ桑園モ、今日ノ場合ニ於キマ
スルト一反歩カラ十五貫ト云フヤウナ非常
ニ少イ状態デアリマスガ、之モツト取ル
ヤウニ致ス場合ニハ、モツト桑園ヲ整理シマ
シテ他ノ食糧ニ向ケ得ルカトモ考ヘルノデ
アリマシテ、大體繭ノ生産目標ヲ八千万貫
ト置キマシテ其ノ他ノ計畫ヲ色々立テ居
リマス、尙ホ其ノ内容ニ付キマシテハ蠶絲
局長カラ申上ダマス

必要デハナカラウカト思フノデアリマス
レバ別箇ノ問題デアリマス、私ハ最近ノ我
ガ國ノ養蠶ノ狀態及ビ今日ノ如キ肥料不足
ノ狀態カラシマシテ、是ダケ減反ヲシテ尙
且八千万貫ヲ維持スルコトハ容易ナコトデ
ハナイト考ヘマスガ、其ノ點ハドウ云フヤ
ウニ考ヘテ居ラマスカ、又他ノ織維トノ
關係ハ是ハ局長サンカラデモ宜シウゴザイ
マスガ、尙ホ伺ツテ置キタイト思ヒマス
○吉田政府委員 現在ノ桑園面積ニ於テハ
一昨年ハ九千三百万貫ノ收穫量ニナツテ居
リマス、昨年ハ少シ作柄ガ惡い地方モアリ
マシテ、其ノ結果八千六百万貫ト云フコトハ
ニナツテ居ルノデアリマス、僅カノ作柄ノ
如何ニ依ツテ非常ニ動クノデアリマスカラ、
正確ニドレダケト云フコトヲ當テルコトハ
困難デゴザイマスルガ、調子好ク行キ、且
又三善サンカラ御話ガアリマシタヤウニ、
成ベク收穫量ヲ多クスルヤウニ桑園ノ肥培
管理、飼育等ニ十分注意致シマシテ、桑園
ノ面積ハ食糧品ニ割イタケレドモ、繭ノ生
産高ハ極力維持シテ、纖維ノ不足ニ即應シ
テヤツテ行カウト云フ注意ヲサセルヤウニ
仕向ケルコトニ依リマシテ、出來ルダケ此
ノ八千万貫程度ノモノヲ收穫出来ルヤウニ
ヤツテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘ方デ進ンデ
居ルノデゴザイマシテ、三善サンノ仰セラ
レマシタヤウニ、見込ガ過大ニ失シナイヤ
ウニト云フ御意見モアツタカト思ヒマスガ、
今申シマシタヤウナ考ヘ方デ收穫量ヲ八千
万貫程度ニ維持シ、桑園ヲ六万町歩減ラシ
テモ尙ホ殘リノ桑園デ此ノ程度ヲ生産サセ
ルヤウニ努力シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居
ルノデアリマス

○三 善委員 御努力下サルコトハ洵ニ結構デアリマスガ、ヤハリ桑園ヲ一割減ラシテサウシテ現在ノ貫數ヲ維持スルコトハ容易デナイト思ヒマスカラ、是ハ一層ノ御努力ヲ希望スル外ナイト思ヒマス、併シ先程他ノ委員カラ言ハレマシタヤウニ、我ガ國ノ食糧ハ獨リ米ノミヲ考ヘテ居ル所ニ非常ニ無理ガアルト思ヒマス、私ハ先般他ノ委員會デモ申上ゲマシタ通リニ、食糧ト飼料ト肥料、此ノ三ツヲ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、此ノ三ツヲ考ヘテ行キマシテ、飼料ガ豊富ニナルト食糧ハ其ノ結果豊富ニナツテ參リマス、飼料ガ缺乏スレバ、ヤハリ食糧ガ飼料ノ方ニ喰ヒ込ミマスカラ、食糧モ亦少クナツテ缺乏シテ來ル、此ノ飼料ト肥料ト食糧トノ三ツハ總テ括シテ考ヘナケレバナラヌ、結合シテ考ヘナケレバナラヌコトダント思ヒマス、ソコデ私ハ無理ニ陸稻ヲ作ルトカ、或ハ其ノ他ノ食糧ヲ作ラヌデモ、飼料ハ十分出來ル、必ズシモ桑園ヲ他ニ改植シテ、サウシテ食糧ヲ作ラヌデモ、飼料ヲ作りマスト、飼料ハ其ノ間作デ出來マスカラ、ソコデ私ハ無理ニ桑園ヲ他ニ轉作スルコトヲセズトモ、飼料ヲ作ツタナラバ、延イテゲテ置キタイト思ヒマス、ソコデ輸出製絲五割ニナツテ居ルヤウデアリマス、米國ニスト、我方國ノ製絲ノ輸出ハ漸次減退致シテ居リマスガ、昭和十年ト比較致シマスト

ル、然ルニ其ノ輸出量ハ減退致シ居リマスケレドモ、米國ノ用途ヲ見マスルト、靴下ノ用途ハ非常ニ多クナツテ居リマシテ、昭和十年ノ五〇%ニ對シ七六%デス、靴下ノ用途ヲ本位シテ考へナケレバナラヌツテ來テ居ル、斯ウ云フコトカラ私考へマスルト、輸出向ノ製絲ニ付キマシテハ、靴下ノ用途ヲ來スデハナイカト云フ點ニ對シマシテ、低下ヲ來スト云フ一抹ノ不安モアルノデアリマスルガ、私共ハ此ノ點ハ大イニ考へナケレバナラヌコトダト思ヒマス、若シ低下ヲ來スコトニナルトシマスナラバ、相手ノ國ガ要求シテ居ル所ノ製絲ヲ作ルコトハ出來ヌデハナイカト云フ風ニ考へマスカラ、此ノ點ハ明瞭ニシテ置カナケレバインカスト思ヒマス、私共ハ兩方面カラ聞キマスト、或ル一方デハ公定サレル爲ニ非常ニ品質ノ低下ヲ來ス憂ガアル、一方デハソウ云フ憂ハナイ、私共素人デハドツチガ本當デアルカ迷ツテシマフ、是ハ一體ドウ云フ風ニ御考ヘニテツテ居ラレルカ、此ノ點ヲ一つ明瞭ニ御答ヘヲ頼ヒタイト思ヒマス○吉田政府委員（會社ガ一手ニ買入レルト云フヤウナコトニナルト、品質ノ低下ヲ來ス懸念ガアルト云フ意味ハ、現在ノ生絲ノ品質ハ検査格付表ト云フモノヲ作りマシテ、何點以上カラ何點マデノ間ヲ一等トシ、何十段階ニ分ケテ、品質ノ等級ヲ定メテ居ルノデアリマス、サウシテ一等、二等、三等ト云フヤウニ分テ居ルノデアリマスルガ、

アルノデアリマス、ソコデ何點以上何點マ
デハ——例ヘバ八十五點以上九十點マデヲ
「エー」格ト云フコトニ致シマスト、ソレヲ
ヤウニ豫メ各格ニ付キマシテ買入値段ヲ豫
定致シマシテ、此ノ會社ハ買フ、「エー」格ハ
幾ラデ買フ、「ビ」格ハ幾ラデ買フト云フ
コトニ定メラレナケレバナラヌノデアリマ
ス、製絲家ハ此ノ會社ヘ賣ル場合ニ検査ヲ
受ケマシテ、「エー」格ハ幾ラ、「ビ」格ハ
幾ラト云フ風ニ決マツタ値デ賣レルト云フ
コトデ、所謂業者ハ安定スル譯デアリマス、
所ガ其ノ安定ヘ至極結構ナノデアリマスガ
其ノ場合ニ其ノ「エー」格ニ幅ガアリマスル
爲ニ、「ビ」格ニ近イヤウナ八十五點程度
ノ成績ノ出ルヤウナ「エー」格ヲ造ツテモ、ソ
レハ會社ニ賣込シダ場合ノ代金ハ同ジダト
云フコトニナラザルヲ得ナイノデアリマス、
九十九點出ルヤウナ「エー」格ヲ造ツテモ、ソ
レハ會社ニ賣込シダ場合ノ代金ハ同ジダト
云フコトニナラザルヲ得ナイノデアリマス、
サウナリマスト九十九點近クノ「エー」格ヲ造
ラウト云フ努力ハ非常ニ鈍ル、狙ヒヲ定メ
ル所ハ八十五點ノ「エー」格——要スルニ
「エー」格ニ入りサヘスレバ宜イト云フ心持
ニナリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ私共ハ
惧レテ居ルノデアリマス、是ガ八十一「ペー
セント」、九十九「ペーセント」機械ガ殆ドモ
ノヲ造ツテ吳レルヤウナ工場デゴザイマス
ト、人間ノ心持ニ依ツテ品質ガ上ニナツタ
ケマシテ、工場長ガ朝カラ晩マデ注意ヲ興
ヘテ、良イ物ヲ造ツタラ褒美ヲヤルト云フ
風ニ緊張サセテ良イ物ヲ挽イテ居ルノデア
リマス、殆ド八十一「ペーセント」、九十九「ペーセ

ント」ハ絲織女ノ精神ノ緊張ニ依ツテ結果ガ現ハレテ居ルト云フノガ現状ナノデアリマス、斯様ナ操絲事情ニ於キマシテ、今申シマシタヤウナ方法デ絲ヲ買取ルト云フコトニ致シマスト、ドウセ「エー」格ニ入レバ宜イト云フヤウナ氣持ニナル、工場長初メ女工ニ至ルマデ心ノ綏ミガ出テ參リマシテ、是ガ知ラズ識ラズノ間ニ全體ニ良イ物ヲ造レバ良イ物ダケニ賣レルト云フ形ニハナラナイ、是ガ全體的ニ生絲ノ品質ヲ下ゲルコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ懸念ガアルト私共ハ申シテ居ル譯デアリマス

○三善委員 只今御説明ノ検定ノ成績ノ幅ノ問題デゴザイマスガ、ソレガ八十五點ノモ九十點ノモ同ジ取引デ價格ガ定メラレルトスレバ、八十五點ノヲ造ツテ、「エー」格ノ良イ方ハ造ラヌヤウニナリハシナイカ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマスガ、其ノ點ヲ防止スル爲ニ、ヤハリ此ノ幅ヲ少クシテ優良ナ物ヲ造レバ、其ノ造ツタダケ相當ソレニ酬ユルダケノコトヲ考ヘナケレバイカヌデヤナイト思フノデスガ、其ノ點ニ對シテハ何方御考案ガアリマスカ、會社デ一手題ガ起ツテ來ルト思ヒマス、今米國デ「ナイロン」ナドガ出來テ居リマスシ、ソレニ對抗シテ行クニハヤハリ天然絹絲、日本ノ繭ト致シマシテハ質ノ良イ物ヲ作ラナケレバ對ヒマス、ソレニ付キマシテハ唯此ノ検定ノ抗スルコトガ出來ヌデヤナイト、ドウシテモ質ノ向卜ト云フコトガ今後我ガ國ノ養蠶界ニ課セラレターツノ使命デハナイカト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ唯此ノ検定ノ幅ニ依ツテサウ云フ憂ヒガアルトシマスナ

ラバ、此ノ幅ヲ縮メテ、サウシテ成ベク優良ナモノヲ造レバ、ソレニ對シテ酬ユルダケノ方法ヲ講ジテ置ケバ其ノ憂ヒト云フモノハ無クナツテシマヒセカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テハ何カ御腹案ガアリマスカ

○吉田政府委員 ソレモ一ツノ考へ方ダト思フノデアリマスガ、今日ノ格付表へ決シテ大マカナコトヲ決メテアルノデハナイノデアリマス、今ノヤウナ關係カラ研究サレタ問題デハゴザイマセヌガ、技術的ニ見マシテ非常ニ色々ナ項目ガアルノデゴザイマス、或ハ大類、小類「セリブレーン」其ノ他再操デアリマスルトカ「デニール」ト云フ風ニ、色々ナ項目ニ付テ總テノモノヲレバ、何點以上、何點以下ト云フコトニシテ、綜合的ニ編出サレタ格付表デアリマシテ、ソレヲ小刻ミニスルト申シマシテモ、色々ナ項目ヲ全部織り混ゼテ出來テ居リ、サウシテ等級ヲ付ケテ居ルノデゴザイマスカラ、小類ナラ小類一項目ダケニ付テノ段階ヲ細力ク割ルト云フナラバ出來マスガ、ソレニ「セリブレーン」ヲ組合セタ場合ニドウ云フ風ニ組合セテ點數ヲ定タルカト云フヤウナコトハ、長年研究モシ難カシイ問題デゴザイマシテ、之ヲ簡單ニ五點ノ開キガアルナラ五段階ニ分ケテ、値段モ五ツニ分ケタラ宜イデハナイカト云フ考ヘモ起キマスガ、中中サウ品等ヲ簡單ニ分ケルト云フコトニ参ラナイ事情モアリマス、併シ無論是ハ今後能ク研究モシ、出來ルダケサウ云フヤウニヤリマシテ、今言ツタヤウナ憂ヒ、懸念ガナイヤウニナリマスレバ、是ハ望マシイコトデアリマスガ、今後ハサウ云フ風ニ努力ハシテ行ク考ヘデアリマス、急ニサウ云フ用意が出来テ居ラナイコトハ洵ニ殘念ニ思

リマスカラ、サウ云フ點ハ兩者ノ間ニ十分連絡サヘ取ツテ參リマスレバ、支那ト内地

トニ止メルカ、或ハ其ノ儘現在ノ機構ノ如クニ流スカト云フコトニ付キマシテハ、モ

ウ少シ實際家ノ意見モ聽キ實情モ見タ上

デ

○三善委員 僕從來ヨリモ安定シテ參ルト思ヒマス、但シ三本建ニルコトガ出來ルト思ヒマス、但シ三本建ニシマスト、ヤハリ若干自由ニ任シテアル所ガアリマスノデ、其ノ點ハヤハリ價格ノ上ニ於テモ稍々不安ノ點ガ残ルノデハナイカト思ヒマス、所謂騰落ノアルコトハ免レヌト思ヒマスガ、先程カラ御意見モアリマシタノデ、此ノ點ニ限ツテハ重ネテ御尋ねハ致シマセス、併シナガラ隣國ノ支那トノ關係ヲヒマスガ、我ガ國ガ三本建デ統制スルト云リマスガ、我ガ國ガ三本建デ統制スルト云フコトニナリマスレバ、連絡統制ヲスル上ニ付テ見マスト、支那ヘ一本デ統制シテ居リマスガ、我ガ國ガ三本建デ統制スルト云スウ感ジマスガ、其ノ點ニ付テハ別ニ心配スルコトハナイノデゴザイマスカ

○井野政府委員 只今御話ニナリマシタ二本建トカ三本建ト云フノハ販賣方法ノ問題デアリマシテ、支那トノ關係ニ於テハ數量ノ問題ト價格ノ問題ダト思ヒマス、此ノ二物ヲ一手デ買取りマシテ、ソレヲ豫メ結ビ付ケテ置イタ養蠶家ノ方ヘ流シテ配給スルツハヤハリ會社ガ數量モ價格モ一元的ニ出来ルダケ統制シテ參リタイト考ヘテ居リマスカラ、兩者ノ間ニハ矛盾ハ生ジナイト考ヘテ居リマス

○三善委員 其ノ數量ノ點ハ別ニ矛盾モ何モナイト思ヒマスケレドモ、價格ノ點ニナリマスト、内地ノ價格ヲヤハリ三本建ニシマスト、ソコニ多少ノ騰落ガ起リ得ル思ヒマスガ、其ノ點支那トノ關係ニ於テ別ニ影響ハナイト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○井野政府委員 大體最低價格ト云フモノヲ決メテ參ルノデアリマスカラ、隨テ非常ニ安ク賣リ合ツテコソ競争ガ起ルノデア

スルコトニ付キマシテハ、

云フ考へ方デハ居ルノデアリマスガ、色々ノ方ヲ統一シテ屑マデ必ズヤルノカト云トニナルコト思ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ織ノ部分デ玉織、屑織マデ一手販賣ヲスルノカドウカト云フ問題、ソレカラ製造家ノ方カラ直接受ケナイ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、隨テ代金スウ云フコトニナルト思ヒマス、隨テ代金ノ方ハ會社カラ製造家ノ方ニ拂ヒ、養蠶家ハ付ケテ置イタ養蠶家ノ方ヘ流シテ配給スルノ方ハ會社カラ製造家ノ方ニ拂ヒ、養蠶家ハ

スルコトニ付キマシテ、之ヲ機屋等ニ會社

カ、其ノ點ハドウ云フ風ニナツテ參リマスカ、其ノ點ハドウ云フ風ニナツテ參リマスカ、

カ、御伺ヒ致シマス

○吉田政府委員 蠶種ノ生產配給ハ此ノ會社デ數量ノ注文ヲ取リマシテ、ソレダケノ付ケテ置イタ養蠶家ノ方ヘ流シテ配給スル、

○三善委員 肩織ノコトデアリマスガ、肩織ト云ヒマシテモ非常ニ種類ガ多クナツテ

○三善委員 肩織ノコトデアリマスガ、肩

織ト云ヒマシテモ非常ニ種類ガ多クナツテ

確ナ御説明ガ出來マスナラ更ニ求メテ置キ
タイト思ヒマス

ソレカラ織纖維ノコトデアリマスガ、内地向ノ或ヘ羊毛代用トカ「ス・フ」代用ニナリマスト、ヤハリ織纖維ヲ之ニ向ケナケレバナリマセヌガ、此ノ織纖維ノ價格ヲドノ程度二スルカト云フコトハ今後ニ残サレタ問題デ

○吉田政府委員「セリシン」定着ノ加工シテ
ドウカ、「セリシン」定着ヲ加工シテ
ハ、纖維ハ公定價格ハ出來テ居リマセヌ
ガ、之ヲ使ヒマス織物、洋服地トカ、「ス・
フ」織物デアルトカ、毛織物デアルトカ、何
レモ是ハ混ゼルノデアリマスガ、此ノ織物
ノ價格ハ公定サレテ居ルノデアリマス、隨

デ生地ヲ賣ルノニ、幾ラ位デ賣ツタラ引合
フカ、繭ナラ繭ヲ六圓五十錢デ買ツテ、之
ヲ碎イタ纖維ヲ何割程度入レテモ採算ガ合
フカ合ハヌカト云フ所ガ賣レルカ賣レヌカ
ノ境目ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ六
圓ニ買ツテ混ゼレバ採算ハ合フガ、六圓
五十錢ニ買ツタノデハ合ハヌト云フ所ガア

ラバ果シテ使ツテ吳レルカ、或ハ「ス・フ」代用トシテ幾ラニ賣ツタナラバ是ガ消費シ得ラレルカ、ソコガ私ハ非常ニ心配ダト思フノデアリマス、養蠶家モソコヲ非常ニ心配シテ居ルノヂヤナイカト思フノデアリマス、其ノ點ハ公定價格ヲ御定メニナルノカドウカ、若シ此ノ公定價格ガ決マレバ、原料ノ

○三 善後貿 春糸ノ公定價格、所謂最低價
ニナル譯テアリマス
御決定ヲ願ツテ、サウシテヤルト云フコト
ハ絲價委員會ニモ諮ツテ、實情ヲ申述べテ
タ上ニ適當ナ所ニ値段ヲ決メル、是ハ業者
ノ絲算、又商工省方面トモ能ク連絡ヲ執ツ
カ、斯ウ云フ所ニ問題ハ落チテ來ルノデア
リマス、隨テ自然採算ノ合フ所デ買フ、ソレ
以上ニハ業者トシテ買ヒヤウガナイ、斯
ウ云フコトニナリマスノデ、ソレヲ見極メ
ダケノ繩ヲドレダケニ買ツタラ採算ガ合フ
テ此ノ價格ノ公定サレテ居ル、ス。ブ。ノ繩物ニ

ルノテアリマス。ソコノ所テ決メレバ、宜イ、此ノ採算サヘ合ヒマスレバ、現在ノ所デハ物ノ關係デ需要ノ方面ハ非常ニ旺盛ナノデアリマス、「ス・フ」ハ足ラズ、羊毛モ不足シテ居リマスノデ、之ヲ使用スル業者ノ方面カラノ物ニ對スル要求ハ非常ニ旺盛ナノデアリマス、唯高クシテヤルト採算ガ合ハナイカラ使ヘナイ、斯ウ云フ狀態ニナツテ居ルト思ヒマスカラ、サウ云フ點カラ考ヘテ行キタイト思ヒマス。

ソレカラ先程ノ御質問ニ對シテ申落シマシタガ、製絲家ガ「セリシン」定着ヲヤリタイト云フ場合ニヤラセルカト云フコトデアリマスガ、是ハ御説ノ通り私共モ洵ニ同感デ

ノ公定價格ガ決マレバ隨テ洋服地ナラ洋服地
ノ公定價格ガソレニ依ツテ決マツテ來ルノ
デヤナイカ、洋服地ノ公定價格ガ決マツタ
ラ、ソレニ對應シテ一方ノ價格ヲ或ハ引下
ゲルカ何カシナケレバ使ヘスト云フコトニ
ナレバ、ソコニ繭ノ價格ハ非常ニ安クナケ
レバナラ又コトニナル、斯ウ云フコトニナ
リマスカラ、其ノ點ノ規準ハ少クトモ繭ノ
生産費ヲ割ラナイ程度ニ置カナケレバナラ
ヌト思ヒマスノデ、サウシタ場合ニ果シテ
政府ノ考ヘテ居ラレルヤウニ内地向ニ消費
シ得ラレルカドウカ、羊毛或ヘ「ス・フ」代用
トシテ消費シ得ラレル可能性ガアルカドウ
カ、之ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○吉田政府委員 等ノ點ニ付テ何カ御研究ナサツテ居ラレル
ナラバ御説明願ヒタイト思ヒマス
「セリシン」定着ノ方ニ廻シ
マスモノハ、是ハ其ノ業者ニ繭デ賣ルコト
ニナリマヌノデ、是ガドウ云フ程度ノ直役

格ガ決マリマスレバ、「セリシン」定着ニ依
ツテ出來タ所ノ、加工サレテ、得タ所ノ織
維ニ對シテモヤハリ何カ公定價格トカ最低
價格トカガ決マラナケレバ、將來之ヲ使ツ
テ「カウトシテモ、非常ニ賈格ニ勵奮フ來

アリマシテ、サウ云フ風ニヤラセテ行キタ
イト考ヘテ居リマス

○吉田政府委員 現在ノ程度ニ於キマシテ
ハ、私共ノ想像致ス所デハ、會社ガ養蠶家力
ヲ買ツタ値段其ノ儘デ賣ツタノデハ中々窮
屈デヤナカラウカ、是ハマダ此處デハツキ
リ申セマセヌガ、養蠶家カラ會社ガ買ツタ

ニナルカト云フコトハ、斯様ナモノヲ絲ニ致シマシテ、ソレヲ使ツテ織ツタ織物ノ價格等カラ計算ヲ致シテ參リマシテ、ドノ程度ニ繭ヲ買ツテヤツタラ採算ガ合フカ、又適當カト云フヤウナ點モ能ク計算致シマシテ、餘リ低値デナイ、又餘リ高値デナイ所ニ能ク研究致シテ決メナケレバナラナイ問題ダト思ツテ居ルノデアリマス

セバ、或ハ羊毛代用ニモナラヌデハナイカ、
或ハ「ス・ブ」代用ニモ用ヒラレヌデハナイカ、
カ、斯ウ云フコトニ結論付ケラレルノデハ
ナイカト思ヒマスガ、其ノ點ハドノヤウニ
御考ヘニナリマスカ

「リシン」定着ノ纖維ガ安ケレバソチラノ方ニ使ヒ、高ケレバ結局使ヘナイト云フコトニナツテ參リマス、ソコデ先刻加藤サンガ言ハレマシタヤウニ、是ガ實際ニ使用シ得ラレルカドウカ、實用化サレルカドウカト云フコトヲ私共ハ非常ニ心配スルノデアリマス、國內向ニヤルト言ヒマシテモ、洋服ナラ洋服ノ價格、品物ノ價格ハ決マツテ居

其ノ儘ノ値段デ、儲ケナクテモ、少クトモ
損ヲシナイ値段デ賣ツタノデハ、是ハ買ツ
タ方デ使フノニ窮屈ヂヤナカラウカ、隨ヒ
マシテ差當リノ狀態デハ或ル程度此ノ會社
ハ短纖維ヲ使用サセル方面ヘハ幾ラカ損ヲシ
提供スルコトニナラザルヲ得ナイ、斯ウ
想像テシ居ルノデアリマス、一面纏ヲ生絲
ニシテ使ハス、此ノ生絲ヲ買ツテ賣ルト云

ナルコト考ヘルノデアリマス、其ノ間ヲ
混ゼ合ハセテ會社ノ懷ロ勘定デ採算ヲ合へ
セテ行ク、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデ
アリマシテ、短纖維ノ方ニ廻ハスノハ、會
社ガ買ツタ値段ヨリハ、幾ラカ下目ニ提供
シテヤルト云フコトニナラザルヲ得ナイモ
ノモアルト思フノデゴザイマス

○三 善委員 其ノ點ガ非常ニ「デリケート」
ナ所ガアルノデゴザイマスガ、ヤハリ「ブー
ル」計算デオヤリニナルノダカラ、其ノ
點ハ養蠶家ニハ餘り影響ガナイヤウニハ思
ヒマスケレドモ、短纖維ノ方ニ御廻ハシニ
ナルノニ、少クトモ私ハ是ハ商工省トノ關
係ニナリマスケレドモ、其ノ最低價格ハドノ
位デアルト云フコトヲ、凡ソコチラノ方デ決
メナケレバナラヌ、ソレニ依ツテ或ハ服地デ
モ何デモ其ノ品物ノ値段ガ決ヅテ來ルト思
ヒマスガ、今ノ服地ノ價格トカ、或ハ其ノ
他ノ製品ノ價格ヲ其ノ儘ニシテ、短纖維ノ
方ニ原料ヲ廻ハサウトシマスト、非常ニ無
理ガアルト思ヒマス、是ハ價格ノ問題ニナ
ルト思ヒマスガ、其ノ點ハ十分御考慮ヲ願
ツテ置カナケレバナラスト思ヒマス

繭ノ集荷、或ハ配給検定、斯ウ云フコト
ニナリマスト、從來ノ乾燥、或ハ貯藏ニ對
シテハ、ヤハリ乾繭組合トカ、或ハ繭市場
ノ一般施設ヲ利用スルト思ヒマスガ、其ノ點
ハドウ云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマス
カ、繭ノ配給ハ或ハ九州ナラ九州、四國ナ
ラ四國ト云フヤウニ地方別ノ「ブロック」ヲ
作ツテ、配給所ヲ御作リニナルノデアルカ、
サウシテ又縣ニ一箇所ノ配給所ヲ作ルノカ、
其ノ點ハドウ云フ風ニヤラレルカ、繭ノ檢
定所モ今マデノヤウニ別々ニナツデハイカ
ヌト思ヒマスガ、ヤハリ九州ナラ九州ト云

フヤウニ、其ノ地方ノ「ブロック」ヲ作ツテ、各縣ノ繭ノ検定ヲ綜合シテ行カナケレバナラスト思ヒマスガ、斯ウ云フ點、及び検定所ニ對シテ、繭ヲ採集スル場合ニハ非常ニ問題ガ多イノデスガ、サウ云フ場合ニドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、實際ノ問題デアルカラ聽キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 繭ノ配給ノ問題デアリマスガ、特ニ乾繭ハ今後トモ乾燥貯藏シナケレバナラヌノデアリマスカラ、是ハ從來通り十分會社ニ於テ之ヲ利用シテ行キタイト思ヒマス、乾燥設備或ハ貯藏設備ノ如キモノハ、出來ル限り速カニ買收シテ、會社自身ノ施設ニスルト云ツタヤウナ考ヘ方デ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ繭ノ集荷配給ノ問題デゴザイマスガ、先ツ養蠶家ハ大體今日市場へ出シテ、當チノチイ振賣リト申シテ居リマスガ、サウ云ツタ種類ノモノハ大體今マデノ所ハ市場賣リニ繭組合ノ「メンバー」ハ其ノ乾繭組合ノ倉庫ナツテ居ル、ソレカラ特約ノ繭ハ特約製絲家ノ倉庫ニ先づ持ツテ行ツテ居ル、或ハ乾繭組合ノ「メンバー」ハ其ノ乾繭組合ノ倉庫ニ持ツテ行クト云フヤウナ形デ、大體今マデ道ガ付イテ居ルノデアリマス、出來ルダケ實際通リノ所ニ集メサセマシテ、サウシテ其處ヘ集荷ヲサセル、會社ハ其處デ買取ツテ代金ヲ拂フヤウニスレバ、養蠶家ガ自分デ作ツタ繭ヲ何處ヘ持ツテ行ツテ宜イノカ、會社ノ事務所ガ何處ニアルノカト云ツカトニシテ行キタイト思ヒマス、今後會社デ一手デ買フト云フヤウナコトニナリマ

スレバ、各縣ノ検定所デ縣内ノモノダケ検査スルト云フ風ナ狹イコトニシナイデ、或ハ數縣ニ跨ツテ検定スルト云フコトニシテ行カウカト考ヘテ居リマス、又サウ云フコトニスルコトニ依ツテ成績等モ一致スルカラニナリマスノデ、サウ云フヤウニ仕向ケテ参リタイト考ヘテ居リマス

○三善委員 集荷ノ方ハ大體今マデノ機縛ヲ其ノ儘利用サレルヤウナコトデアリマスカラ、是ハ非常ニ結構ダト思ヒマス、配給ニ付キマシテハ、配給所ト云フノヲ御設ケニナルト思ヒマスガ、是ハヤハリ地方別ノ「ブロック」ヲ作ツテ、或ハ縣ニ何箇所ノ配給所ヲ御作リニナルト云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、ソレカラ又組合ノ今マデノ製絲家ガ地方ニヤツチ居リマシタ所ノ數量ハ全部ノ繭ノ半分ダト思ツテ居リマスガ、ソレハヤハリ從來ノ通り特約取引ト云フノヲ御認メニナルノデアリマセウカ、此ノ特約ニ依ツテ其ノ製絲家ガ各々技術員ヲ派遣シテ、サウシテ其ノ技術ニ依ルノデアリマセウカ、モウ今回ハ特約取引ト云フコトハ會社トハ別個ニナルデセウカ、メルト云フヤウナ事實ガアリマスガ、此ノ特約取引ト云フモノハ、今後モ御認メニナルノ派遺シテ、其ノ技術家ニ依ツテ指導シテ、相當ニ成績ヲ擧ゲテ居ルガ、此ノ事實ハドウ云フ風ニオヤリニナルノデアリマス

ノヤウナコトニナルモノト考ヘテ居リマス、
特約取引ノ今後ノ問題デアリマスガ、是
ハ從來ハ製絲家ト養蠶家ノ團體トノ間ニ豫
約契約ヲシテ、作ツタ繭ハ必ズ其處ニ持ツ
テ行クト云フ賣買ノ豫約ガアツタノデアリ
マスガ、今後ハ賣買ハ製絲業者ト直接ニ出
來ナインデ其ノ會社ノ方へ持ツテ行クカ
ラ、斯様ナ意味ニ於テノ特約ト云フコトハ
ナクナリマス、併シ製絲家ト養蠶家トノ間
ノ事實上ノ繭ノ流レヲ結ビ付ケテ置キマシ
テ、此ノ實行組合ノ繭ハ此ノ製絲家ニ行ク、
要スルニ從來特約デヤツタモノハ、其ノ儘
其ノ人ノ所ニ流レテ行クト云フコトニシ、
且又品種ノ向上ノ上カラ、指導等モ十分ヤ
リマシテ、斯フ云フコトノ爲ニ品質ノ低下
シタリ、惡クナツタリスルヤウナコトノナ
イヤウニト云フ意味デ、指導等モ十分ヤラ
セテ行ツテ、然ルベキモノダト考ヘテ居ル
ノデアリマス、其ノ意味ニ於テハ、從來ト
特約ハ同ジダ、斯ウ考ヘテ下スツテ宜イト
思フノデアリマス

○三善委員 従來ノ取引ハ其ノ儘ニナルト
思ヒマスガ、從來ノ製絲家ノ取扱數量ハ減
ツテ參ルト思ヒマス、從來ノ特約ノ一部ハ
從來ノ流レノ通リニシヨウ、勿論是ハ會社
ノ手ヲ經テヤルノデアリマスケレドモ、ソ
レハ製絲家ノ技術ノ指導ニ依ツテ實行組合
ナラ實行組合デ繭ノ生産ヲヤツテ、其ノ繭
ヲ製絲家ニ割當デラレル數量ノ範圍ニ於テ
流シテヤル、斯ウ云フ風ニ承知シテ宜イデ
アリマセウカ

○吉田政府委員 此ノ繭ノ割當ニ付キマシ
テハ一定ノ生産割當ニ基キマシテ生絲ノ生
產數量ノ割當ガアリマス、ソレニ必要ナル
原料繭ノ割當ガアルノデアリマスガ或ハ、
原料繭ノ割當ガアルノデアリマスガ或ハ、

○三 善委員 サウシマストスウ云フコトニ
ナルカト思ヒマス、其ノ製絲ニ割當テラレ
ル所ノ數量ダケハ從來ノ製絲家ガ割當ツテ居
ル所謂特約取引ノ中カラ其ノ方ニ割當テラ
レルト思ヒマス、ソレデ從來ノ特約取引ト
云フモノハ其ノ製絲家ガ技術員ヲ指導シテ
ナツテ居リマスカラ、今度例ヘバ其ノ製絲
家ガ今マデ十ノモノヲ製造シテ居ツタノガ
或ハ六ナリ七ナリニ制限セラレル譯デゴザ
イマスカラ、アト四トカ三トカニ對シテハ
製絲家ハ特ニ技術ノ指導ト云フコトハスル
必要ガナイヤウニナル、其ノ技術ノ指導ト
云フコトガ今後ニ残サレタル問題ダト思ヒ
マス、ソレハドウ云フ風ニヤツタラ宜イデ
セウカ、特約ト云フモノガ漸次減ツテ參リ
マスト、其ノ殘リノ技術指導ト云フコトハ
容易ナコトデハナイト思ヒマスガ、ソレ等
ニ付テ政府ハ何カ御考案ガアリマスカ

○吉田政府委員 養蠶ノ指導ノ問題ハ理想
ト致シマシテハ私共ハ養蠶團體デ統一的ニ
ヤルコトガ宜シト云フ根本ノ考ヘヲ持ツ
テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今後サウ云
ツタヤウナ特約ノ關係デ、製絲家ガ直接ニ
受クベキモノニナルノデアリマス、其ノ他
ノモノハ無論他ノ方ニ行クト云フコトハ當
然ノコトデアリマス

行クコトガ原則デアリマスノデ、一日モ早クサウ云フ状態ニナルコトヲ希望致シテ居リマス、今差當リノ問題トシテハソレヲ望ミマシテモ中々行キマセヌノデ、先言ヒマシタヤウニ、從來トモ製絲家ノ方ハ技術員ガアツテ之ヲ指導サセテ居ルト云フコトデアルナラバ、其ノ技術關係ハ當分是ヘ認メテヤラシテ置ク方ガ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデ先程申シタヤウニコトヲ言ツタノデアリマス、ソコデ特約ヲ止メルト云フコトニナリマスレバ、無論其ノ指導ニ付キマシテハ團體ノ方デヤルノデアリマス、又特約ノ方デ指導フヤツテ居リマシテモ、寧ロ製絲家ガ自分ノ所デ直接責任ヲ持ツテヤルノフ止メテ、斯ウナレバ同ジダカラト云フコトデ養蠶團體ノ方ニ指導ノ仕事ヲ委嘱スル、サウシテ此ノ人ガ非常ニ指導ガ上手ダン、アノ人ノ指導ノ方ガ宜シトイ云フヤウナコトデ團體ノ方ニ任せルト云フコトモアリ得ルコトト思ヒマスガ、サウ云フコトガアレバソレデモ結構ダト思ヒマス、指導ノ問題ハ急激ニ變化サセルコトハ如何ナモノデアラウカト考ヘテ居リマス

員ノ充實、技術員ノ充實ト云フ問題が起ツテ來ナケレバナラヌ、其ノ技術員ノ充實ニ付キマシテハ、豫算方面ニモ別段費用ハ計上サレテ居ナイト思ヒマスガ、其ノ邊ハ何カ別個ノ御考ヘガアルノデスカ
○吉田政府委員 製絲家ガ或ル實行組合ト特約シテ居ツタ、大體ソコカラ製造サレル繭ハドノ位アルデアラウカト云フコトヲ豫定シテ居リマスガ、必ズシモ全部キチント手ニ入ル部分ダケシカ指導シナイ、ソレ以外ハ指導ハ一切止ヌルト云フヤウニ出テ參リマスルカ、此ノ點ハモウ少シ事情ヲ見ナケレバナラヌコトデアリマスガ、今後會社等ニ於キマシテ養蠶團體ノ指導ニ力ヲ入レルト云フコトニナリマスレバ、其ノ指導ハ經費ノ他ノ關係ニ於テハ會社ト團體トガ連繫シテ指導ニ當ルベキモノト思ヒマス、政府ノ豫算トシテハ指導網ノ擴充ノ問題ハ年來ノ問題デアリマスガ、是ハ中々困難な問題デアリマスガ、今後此ノ會社ガ出來マスレバ斯様ナ點ニ於キマシテハ餘程從來ヨリハ良クナツテ參ルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

今マデノ價格デハ或ハ十分消化ガ出來ヌカ
モ知レヌト云フ懸念モアリマスシ、絹織物ヲ
獎勵普及スル意味カラ行キマシテモ、絹
織物ノ稅金ヲ免除スルコトガ非常ニ效果ガ
アルノデハナカラウカト思ヒマスガ、此ノ
點ハ大藏省ノ關係モアリマスガ、農林省ト
シテハドウ御考ヘデアリマスカ

○吉田政府委員 絹織物ノ消費稅ノ減免ノ
問題ニ付キマシテハ、今日バカリノ問題デ
ハナク、先年來色々業界ノ要望モアリマ
シテ、大藏當局トモ折衝シタコトガアルノ
デゴザイマスガ、何シロ歲入ノ問題ニ、正
確ナコトハ覺エテ居リマセヌガ、相當ニ影
響モゴザイマスノデ、中々實況ガ困難ナ狀
態ニナツテ居ルノデアリマス、今後トモス
ウ云フ問題ニ付テハ十分研究モシ、折衝ス
ベキ所ハ折衝モ致シテ見タイトハ考ヘテ居
リマス、現在之ヲ止メルト云フ所マデハ進
ンデ居ラナイノデアリマス

○三善委員 絹織物ハ從來贅澤品トサレテ
居リマシタケレドモ、是カラ國內消費ニ向
ケルト云フコトニナリマスト漸次考ヘヲ變
ヘテ行カナケレバナラヌ、ソコデ稅金ニ對
スル問題ニモ言及シタ譯デアリマスガ、ド
ウシテモ將來其ノ考ヘヲ變ヘテ國內ニ普及
スルト云フコトカラ根本ニ邇ツテ御研究ヲ
願ツテ置キタイノデアリマス、尙ホ國內消
費ヲ獎勵セラレルコトモ宜イノデアリマス
ガ、今マデノ輸出ハドウシテモヤハリ確保
シタイト云フ考ヘヲ持タナケレバナラヌト
思ヒマスガ、米國ノ「ナイルン」ト云フモノ
ガ最近非常ニ發達シテ參リマシタ、之ニ對
シテ我ガ國ノ將來ノ生絲ハドウ云フ立場ニ
アルベキモノデアリマセウカ、唯今マデノ

○吉田政府委員 従來支那ニ於テ相當ノ蠶絲ノ生産ガアツタノデアリマスガ、大部分ハ支那内地デ使ハレテ居ツタノデス、最近は「アツタノデアリマス、ココデ問題ガ起ル譯デシテ、今申シマシタヤウニ、海外市場ニ於テ日本トノ相剋摩擦ヲ起スヤウナ傾向ニナツタノデアリマス、成ベク支那ノ絲ガ從來ノ通り支那内地デモ相當消費サレルヤウニ、出來ルナラバ日本ノ内地消費ノ生絲ナリ、織物ナリヲテ行クト云フヤウニシテ行キタイト思ヒマス、成ベク支那ノ絲ガ從來ノ通り支那内地デモ相當消費サレルヤウニ、出來ルナラバ日本ノ内地消費ノ生絲ナリ、織物ナリヲ圓「ブロック」以外ニ向ケルト云フコトハ、必ズシモ困難ナモノデヤナイヤウニ思フノデアリマス、分量ガ非常ニ少イコトデモアリマスカラ、アノ大キナ「マー・ケット」ニ向ツテ、多少ナリト出シマスコトハ、左程困難デハナイト考ヘテ居リマス、併シ今日マデハ餘リ生絲ノ形デハ出テ居リマセヌ、織物ノ形デ出テ居リマス、今後ハ斯様ナ形ニ於テ支那方面ニ出マスモノナラ出スヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○高橋委員長 最上君、此ノ場合先程農林大臣ニ對シテ留保サレタ質問ヲナサツタラドウデスカ

○最上委員 私ハ先程ノ本案ニ對スル質疑應答ノ結果トシテ、大體結論トシテ一ツハ本案實施後ニ於ケル農家收入ノ減少ニ依ル生活問題ノ點ト、一ツハ繭絲業各方面ニ及ボス失業問題デアリマス、失業問題ノ點ハ既ニ局長カラ大要ノ御話ガアリマシタカラ、私ハソレデア承致シテ置キマス、唯農家經濟ノ問題ニ付テハ、今日ノ我ガ國ノ農家ハ、米價ハ釘付サレテ居リ、ソレニ反シ諸物價ハ日々暴騰シテ、其ノ生活ハ頗ル困難ナコ

トハ、大臣モ認メテ居ラレルコト存ズル
ノデアリマス、然ルニ本案實施後ニ於テ、
或ハ桑園ノ整理ニ依ツテ、一千數百万貫ノ
繭ノ減産ヲ行ハレ、又國用絲、短纖維繭等ヲ
作ル爲ニ、是非相當ノ收入減トナルコトハ
争ハレナシ事實デアリマス、斯ウ云フヤウ
ナ場合ニ於テ、昨今農家ノ生活ハ非常ニ困
リ、其ノ爲ニ叫バレテ居ルノハ米價引上ノ
問題デアリマス、此ノ問題ハ本議會ニ於テ
モ屢々問題トナツテ、是等ニ對シテ政府當局
ノ御答ヘハ、色々其ノ原因ガアリマセウガ、
要スルニ低物價政策ノ今日ノ場合、之ヲ引
上ゲルコトハ出來ナイト云フヤウナ御答ヘ
ニ歸スルコトト考ヘル、私ハ今日マデノコ
トニ付テハ兎ヤ角言ヒマセヌ、然ルニ一昨
日ノ閣議ニ於テ如何ナルコトガ決定サレマ
シタカ、農林大臣モ御承知デアリマセウガ、
閣議ニ於テ下級官吏ニ對シテ、十圓方増俸
ノ件ガ可決サレタ、其ノ結果近ク小學教員
ヲ初メトシテ、警察官吏、遞信從業員、鐵
道從業員ト云フヤウナ下級官吏ガ、何レモ
増給サレルコトガ決定致シタノデアリマス、
固ヨリ私ハ是等下級官吏ニ對スル増給ニ反
對デハアリマセヌ、現ニ小學校教員ノ增俸
ニ對シテ、私其ノ實行委員トシテ數日間色
色努力シタモノデアリマシテ、決シテ私ハ
反対シマセヌ、唯其ノ閣議ノ席上ニ於テ、
其ノ引上案ニ御同意ニナツタ農林大臣ノ心
中ヲ伺ヒタインデアリマス、此ノ増給ノ結
果トシテ、政府ガ從來カラ唱ヘテ居ル所ノ
低物價政策ニ、是ガ禦觸シナイカドウカ、
若シモ是ガ出來ルナラバ、私ハ當然ト米價
ノ釣上ヲシテモ宜シカラウト考ヘルノデア
リマス、農林大臣ハ全國多數ノ農民ノ爲ニ、
眞ニ農村生活ノ窮状ヲ考ヘタナラバ、是等ニ

○石黒國務大臣 小學校教員増俸ノ問題ニ付テノ閣議ニ於テ、私ガ賛成ヲ致シタト云フコトヲ前提トシテノ御問ヒデアリマスガ、私ハ閣議ニ於テ如何ナル言動ヲナシタカト云フコトヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、隨ヒマシテ賛成ヲ前提トシテノ御尋ネニ對シマシテハ、私ハ御答ヘヲ申上ゲラレナインオデアリマスガ、單ニ賛否如何ニ拘ラズ、左様ナコトニ相成ツタ場合ニ於キマシテハ、農民ノ問題ニ付テ、農林大臣トシテ十分考へナケレバナラス、斯ウ云フコトニ相成ルガドウダ、斯ウ云フ御尋ネニ對シマシテハ、洵ニ其ノ通リニ考へテ居リマスノデ、是カラノ新事態ニ即シマシテ、私トシテハ十分ニ將來ノコトハ考へテ參リタイト考へテ居リマス

○最上委員 只今農林大臣ノ誠意アル御言葉ヲ聽イテ、私ハ諒ト致シマス、是以上此ノ問題ニ付テ追究ハ致シマセヌガ、最近ニ於ケル農林當局ノ色々ノ施設ニ對シテ、甚ダ不滿デアリマス、或ハ商工省方面、或ハ遞信省方面ヲ見ルト、勤モスレバ資本家ニ對シテハ、政府ハ相當補助ヲシテ居ルノデアリマス、然ルニ地方農村問題ニ對シテハ、農林省ハ冷淡デアル、冷淡ト言フト甚ダ失禮ノ點ガ多イノデアリマス、ドウカ米價ノ釣上げニ付テハ、十分ノ御考慮ヲ願ヒマス尙ホモウ一點伺ヒタイコトハ、桑園整理ニ對シテ、農林省ハ既ニ各府縣ニ對シテ、ソレド手配ヲシタサウデアリマスガ、聞ク所ニ依リマスト、食糧生産確保ノ爲ニ、

文部省ニ於テハ學期末ノ利用シテ學生ヲ多
數地方ニ派遣シテ、之ヲシテ手傳ハシメル
ト云フ方針ノヤウデアリマス、所謂學生義
勇軍トデモ申シマスカ、第一回ニ三百名、之
ヲ群馬、長野、山梨方面ニ派遣サレル方針
ダト聞イテ居リマスガ、是等ノ桑園整理或
ハ食糧問題ニ付テ文部省ト農林省ノ間ニ
何カ打合セガアリマシタカドウカ、是ダケ
質問シテ私ノ質問ヲ終リマス

テ居リマスカラ、明日ハ午後二時カラ開會ヲ致スコトニ豫定ヲ致シテ居リマスガ、確タルコトハ公報ヲ御覽願ヒタイト存ジマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時一分散會